

# KENWOOD

MP3/WMA対応 CDレシーバー

## f-CD07

CDレシーバー

## f-CD05/f-CD05S

MDレシーバー

## f-MD07

## 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのう  
え、説明の通り正しくお使いください。  
また、この取扱説明書は大切に保管してください。  
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用  
することはできません。

株式会社 ケンウッド  
KENWOOD CORPORATION

使いこなし！  
ファンクショナルオペレーション

## Functional Operation

ここさえ読めばひとまずOK!  
イージーオペレーション

## EZ Operation



© B64-2772-00/00 (JW)

ソースセクション

CD/MP3/WMA/MD/Changer/KSF モード

TUNER モード

Name Set

ディスプレイコントロール

オーディオコントロール

Menu

オプション

リモートコントロール

? Operation

? MP3/WMA

? MD Group

? Word

## Help

Help

Functional Operation

EZ Operation

# Contents

ここを読まなければ操作できない！  
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

## 本書の読みかた

本書の読みかた	4
安全上のご注意	6
使用上のご注意	8
CDとMDの取り扱い	10

ここさえ読めばひとまずOK！  
イージーオペレーション

## EZ Operation

CD/MP3/WMA、MD、FM/AM放送、交通情報の聴きかた …12

リモコンでも操作できるゾ！

## リモートコントロール

リモートコントロール	50
各モード共通	
電池の入れかた	
CD/MP3/WMA/MD/Changer/KSF モード	
TUNERモード	
DNPS/SNPS	
SBF	
TVモード	

思ったとおりに動作しなかったとき  
わからない用語が出てきたら…  
困ったときのお助けページ！

## Help

Help? Operation	56
Help? MP3/WMA	64
Help? MD Group	66
Help? Word	68

取り付け方法など

## 付 録

取り付け時のご注意	74
接続	76
取り付け	79
保証とアフターサービス	80
仕様一覧	82

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

## Functional Operation

ソースセレクション	14
ソース選択 (f-CD07/CD05/CD05S)	
ソース選択 (f-MD07)	
CD/MP3/WMA/MD/Changer/KSF モード	16
トラック/ファイルサーチ	
ディスク/フォルダ/グループサーチ	
マニュアルサーチ	
リピートプレイ	
スキャンプレイ	
ランダムプレイ	
マガジンランダムプレイ	
グループランダムプレイ	
テキストスクロール	
フォルダセレクト (f-CD07)	
グループセレクト (f-MD07)	
ポーズ	
TUNERモード	22
バンド切り替え	
チューニング	
マニュアルメモリー	
オートメモリー	
プリセットチューニング	
Name Set	24
DNPS (ディスクネームプリセット) /	
SNPS (ステーションネームプリセット)	
AUXネームセレクト	
ディスプレイコントロール	28
パネル取り外し	
パネル取り付け	
操作パネル角度調整	
ディスプレイタイプ選択	
文字情報表示選択 (ディスプレイ上段)	
文字情報表示選択 (ディスプレイ下段)	
レベルメーター表示選択	
全画面表示選択	
オーディオコントロール	36
オーディオコントロール	
サブウーファー出力設定	
dBイコライザー	
SRS WOW設定	
WOWコントロール	
メニュー	42
メニュー設定	
セキュリティコード	
時計調整	
LXアンプコントロール	

オプションも使いこなそう！ オプションズ

# Options

TV コントロール .....48

チューニング

バンド/ビデオ切り替え

プリセットチューニング

マニュアルメモリー

音声多重切り替え

ソースセレクション

CD/MP3/WMA/MD/Changer/KSF モード

TUNER モード

Name Set


ディスプレイコントロール

オーディオコントロール

Menu

オプション

リモートコントロール

WOW、SRSと記号はSRS Labs,Inc.の商標です。  
WOWはSRS Labs,Incからのライセンスに基づき製品化されています。

Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。

# 本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の4つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!  
イージーオペレーション

## EZ Operation

すぐに使いたいかたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。ここだけ読めば、とりあえずお使いいただけます。

使いこなす! ファンクショナルオペレーション

## Functional Operation

EZ Operationを習得したらここへ。すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

オプションも使いこなそう! オプションズ

## Options

本機に接続できる別売品の機能の使いかたを説明しています。別売品を接続しているときにお読みください。

## Help

- ? Operation 思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。
- ? MP3/WMA f-CD07でプレイできるMP3/WMAファイルのメディアやそのフォーマットの説明をしています。
- ? MD Group f-MD07でプレイできるグループ登録済みMDの検索機能などを説明しています。
- ? Word 取扱説明書やディスプレイに表示される用語を解説しています。

これらのほかに、リモコンによる操作を説明した【リモートコントロール】、本機の取り付け方法などを説明した【付録】があります。

● 取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。なお、操作法が同じところでは、f-CD07の操作パネルにて表示・説明してあります。

## 本文でのマークについて



### 共通の操作

ソースにかかわらず共通の操作を表しています。



### CD/MP3/WMAの操作

(f-CD07/CD05/CD05S)  
CD/MP3/WMAをプレイする操作を表しています。



### MDの操作 (f-MD07)

MDをプレイする操作を表しています。



### チューナーの操作

FM/AM放送を受信する操作を表しています。



### 注意

ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。



### メモ

本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

### 1秒以上押す

1秒以上（メモリーに書き込むときは2秒以上）押す操作を表しています。



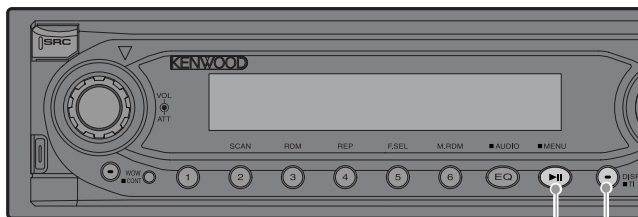
動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表します。

通常、1秒間押します。また、メモリーに書き込むときには2秒間押します。押し秒数は矢印の中での表示を目安にできます。

### 短かく押す

ボタンをチョンと押すことを表します。





この辺ボタンABC…  
操作するボタンがどこにあるのか…、位置を表すためのマークです。

## ● DNPS (ディスクネームプリセット) / SNPS (ステーションネームプリセット) CDとFM/AM放送局に名前を付けます。

### 2 メニューモードにします

A



Menu

“Menu” と表示されるまで押し続けます。

ディスプレイ表示  
このディスプレイが表示されるまでボタンを押すことを表します。

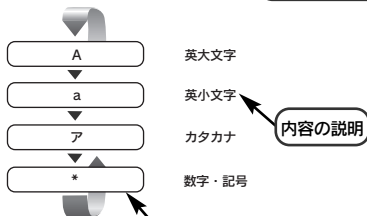
### 6 文字の種類を選びます

A



押すたびに次の順で切り替わります。

ディスプレイ表示  
スクロール  
ボタンを押すたびに切り替わるモードや表示を表します。



表示される文字または内容

ソースセレクション

CD/MP3/WMA/MD/Changer/KSFモード

TUNER モード

Name Set

ディスプレイコントロール

オーディオコントロール

Menu

オプション

リモートコントロール

Help

上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

# 安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」  
をご使用前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



## 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



## 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

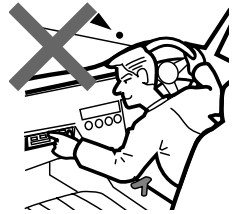
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。



## 警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入・取り出し など）

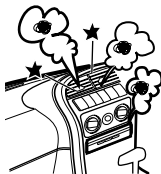
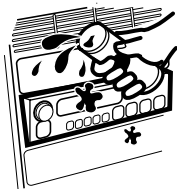


実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



### 禁止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



### 禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

## ⚠ 注意



### 禁止

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



### 禁止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



### 禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



### 禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをすることがあります。



### 実施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

# 使用上のご注意

## 本機に接続できるシステムについて

本機には、1998年以降に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー、CDプレーヤー、LX-BUS接続のTVモニターやナビゲーションシステムが接続できます。接続できるディスクチェンジャー、CDプレーヤー、LX-BUS接続のTVモニターやナビゲーションシステムの機種はカタログをご覧ください。

1997年以前に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー／CDプレーヤー、および他社製のディスクチェンジャーは接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

“O-Nスイッチ”の付いているケンウッド製ディスクチェンジャー／CDプレーヤーは“N”側に設定してください。

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

別売品のCD/MDチェンジャースイッチングユニット“KCA-S210A”を使用するとディスクチェンジャーを2台まで、またはディスクチェンジャーとLX-BUS接続の機器を1台ずつ接続することができます。接続などの詳しい説明は「接続」(76ページ)および、KCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

## 温度について

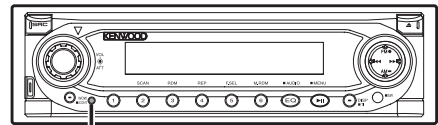
直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてディスクの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

## 本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「Help」(56ページ)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



リセットボタン

リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

## 結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

## セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。




## 使用できないCD

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

マークの付いていないCDは使用しないでください。

前記マークの入っていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）

このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

インクジェットプリンターでレーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RWは使用しないでください。使用すると、誤動作することがあります。

## オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーモードにしたリ交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

## レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

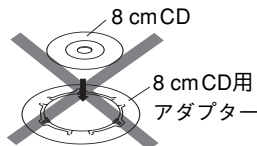
## CD用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

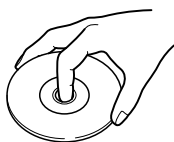
また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。



# CDとMDの取り扱い

## CDの取り扱いについて

CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いは記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です)



CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱い  
ため、傷が付くことなどにより、はがれることが  
あります。また、指紋による音飛びにも弱いメ  
ディアです。取り扱いには十分注意をしてください。  
詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージ  
などにも書かれています。それらの注意事項も読  
んでから使用してください。

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テー  
プなどを貼らないでください。

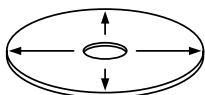
CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなど  
のノリがはみ出したり、はがした痕があるものは  
お使いにならないでください。そのままCDプレー  
ヤーにかけるとCDが取り出せなくなったり、故障  
することがあります。



## CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや  
柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かっ  
て軽くふき取ってください。

従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シン  
ナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないで  
ください。



## CDの保存

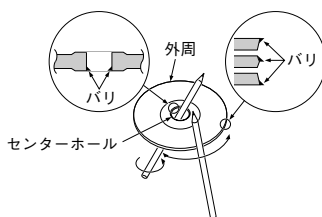
直射日光があたる場所(シートやダッシュボードの  
上)など、温度が高い場所には置かないでください。  
特にCD-R、CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、  
多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時  
間放置すると使用できなくなる場合があります。

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出し  
て、ケースに入れて保管してください。

キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケース  
に入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保  
存しないでください。

## 新しいCDを使うときは

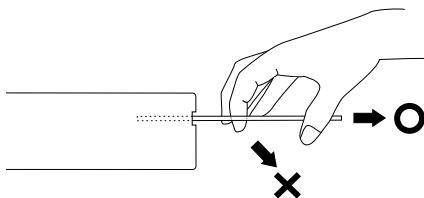
新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや  
外周部に"バリ"がないことを確認してください。  
"バリ"がついたまま使用すると、CDが挿入できな  
かったり音飛びの原因になります。"バリ"がある  
ときは、ボールペンなどで取り除いてから使用し  
てください。



## CDの取り出しかた

f-CD07/CD05/CD05SからCDを取り出すときは水平  
方向に引き出してください。

下側に強く押しながら引き出すとCDの記録面に傷  
を付ける原因となります。



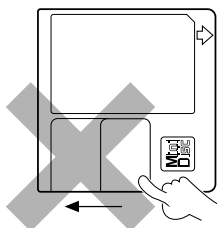
## MDのお手入れ

カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾いた布でふき取ってから使用してください。特に油污れが付いた状態で使用しますと、ディスクがローディングされなかったり、取り出せなくなることがあります。また、お手入れされるときは、シャッターを開かないようご注意ください。

## MDのシャッターについて

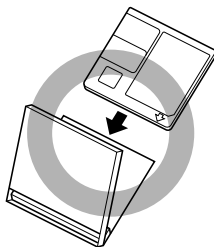
MDのシャッターは開けられないようになっています。無理に開けるとカートリッジが破損して使用できなくなります。

シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分を指で触らないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。



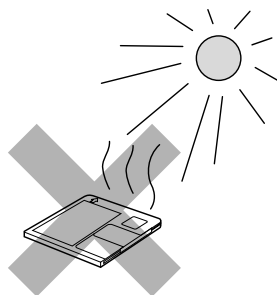
## 保管について

MDを長時間f-MD07に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。



## 高温に注意

MDを直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。



## CD/MP3/WMAまたはMDのプレイは簡単！ CD/メディア/MDを差し込むだけです。



**プレイする曲を選びます。**



**受信する放送局を選びます。**

受信状態の良い放送局を自動的に受信します。チューニングモードの設定により、周波数を1ステップずつ変えたり、メモリーしている放送局を順に受信するようにもできます。(23ページ)



**交通情報の周波数 (1620KHz/1629KHz/ 522KHz) を切り替えます。**



**電源をオン/オフします。**

押すと電源がオンになります。  
1秒以上押すと、電源がオフになります。

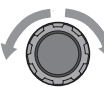


**CD/MP3/WMAまたはMDのプレイとFM/AM放送を切り替えます。**

ディスクが入っているときに押すと、FM/AM放送、CD/MP3/WMAまたはMD、STANDBYに切り替わります。




**音量を下げます。**




**音量を上げます。**

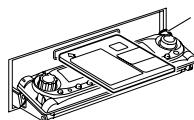


**f-MD07で、MDをプレイするには…**

 を押して操作パネルを開き、プレイするMDを差し込みます。差し込んだMDがプレイされます。

**MDを取り出すには…**

 (イジェクトボタン) を押します。



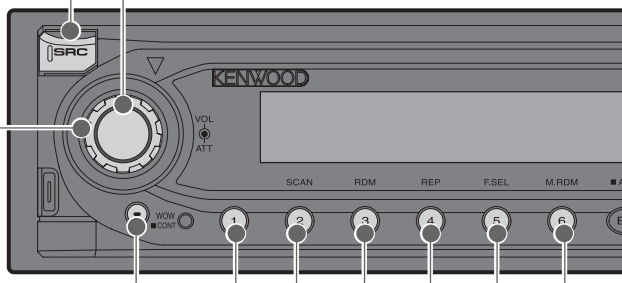
イジェクトボタン



- 本機はグループ管理機能を搭載しています。詳しくは「Help? MD Group」(66ページ)をご覧ください。
- 開いている操作パネルに無理な力をかけないでください。
- ディスクが入っているときは、INインジケーターが点灯します。



**音量をすばやく小さくします。**  
もう一度押すと元の音量に戻ります。



**交通情報を受信します。**  
(f-CD05/CD05Sのみ)



交通情報を受信中に音量を調節すると、次回から交通情報を受信したときは自動的にこの調節した音量になります。



注意

- 安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。
- 操作パネルを開いたときにシフトレバーなどに干渉する場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。



**メモリーされている放送局を選びます。**

2秒以上押すと、受信中の放送局をボタンにメモリーします。



f-MD07  
MDの操作




チューナーの操作




共通の操作

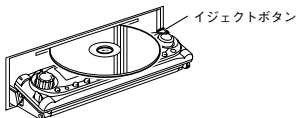


### f-CD07/CD05/CD05Sで、CDをプレイするには…

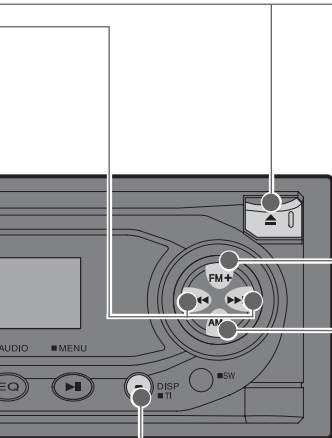
 を押して操作パネルを開き、プレイするCDを差し込みます。差し込んだCDがプレイされます。

### CD/メディアを取り出すには…

 (イジェクトボタン) を押します。



- f-CD07ではMP3/WMAも収録されたメディアを差し込むとプレイされます。
- プレイできるMP3/WMAメディアや、フォーマット、書き込み方法の注意などが「Help? MP3/WMA」(64ページ)に記載してあります。メディアを作成する前にご覧ください。
- 開いている操作パネルに無理な力をかけないでください。
- ディスクが入っているときは、INインジケータが点灯します。



**FM放送のバンド  
(FM1/FM2) に切り替えます。**



**次のMP3/WMAフォルダ/MDグループを選びます。**



**AM放送のバンド  
(AM1/AM2) に切り替えます。**



**前のMP3/WMAフォルダ/MDグループを選びます。**



**交通情報を受信します。  
(f-CD07およびf-MD07のみ)**

1秒以上押すと、交通情報を受信します。  
もう一度1秒以上押すと元に戻ります。

- 交通情報を受信中に音量を調節すると、次回から交通情報を受信したときは自動的にこの調節した音量になります。

ソースセレクション

CD/MP3/WMA/MD/Changer/KSF モード

TUNER モード

Name Set

ディスプレイコントロール

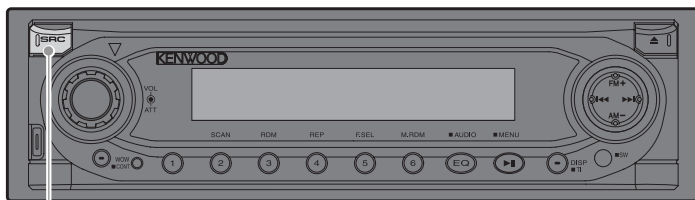
オーディオコントロール

Menu

オプション

リモートコントロール

# ソースセレクション



A

## ソース選択 (f-CD07/CD05/CD05S)

プレイするソースを切り替えます。

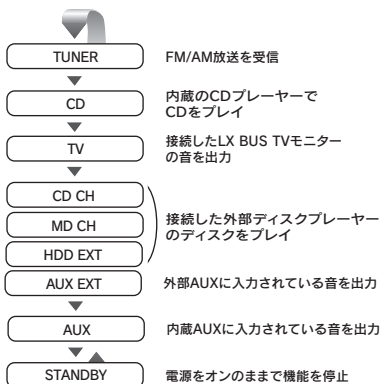


押すたびに次の順で切り替わります。



- f-CD07ではMP3/WMAのメディアが挿入されているときは、CDモードを選択することにより、MP3/WMAファイルのプレイができます。
- “AUX”項目はf-CD07でのみ選択できるソースです。

別売品のユニットが接続されているときには、次の順で切り替わります。



- AUXソースには「メニュー設定」(42ページ)の“AUX”項目が“ON”に設定されているときに切り替わります。
- AUX/AUX EXTソースの表示は、初期状態では“AUX”/“AUX EXT”と表示されますが、「AUXネームセレクト」(26ページ)で変更ができます。但し、CA-C1AXを接続しているときは、AUXネームセレクトはできません。
- CDチェンジャーなどの外部ユニット選択時の表示例  
 “CD CH” :CDチェンジャー  
 “MD CH” :MDチェンジャー  
 “HDD EXT” :HDX-710 (別売品)などの音楽ファイル (KSF) ソース  
 “AUX EXT” :KCA-S210A (別売品) など

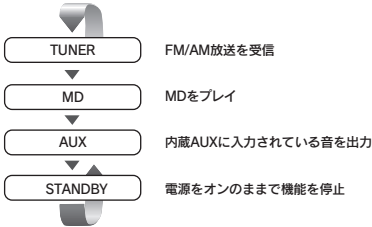
プレイするソースを選びます。

## ソース選択 (f-MD07)

プレイするソースを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。

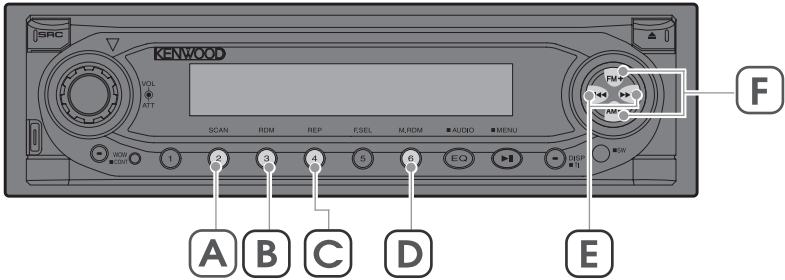


別売品のユニットが接続されているときには、次の順で切り替わります。



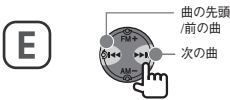
- AUX ソースには「メニュー設定」(42ページ)の“AUX”項目が“ON”に設定されているときに切り替わります。
- AUX/AUX EXTソースの表示は、初期状態では“AUX”/“AUX EXT”と表示されますが、「AUXネームセレクト」(26ページ)で変更ができます。但し、CA-C1AXを接続しているときは、AUXネームセレクトはできません。
- CDチェンジャーなどの外部ユニット選択時の表示例  
 “CD CH” :CDチェンジャー  
 “MD CH” :MDチェンジャー  
 “HDD EXT” :HDX-710 (別売品)などの音楽ファイル (KSF) ソース  
 “AUX EXT” :KCA-S210A (別売品) など

# CD/MP3/WMA/MD/Changer/KSFモード



## トラック/ファイルサーチ

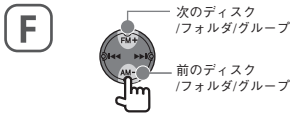
プレイする曲を選びます。



## ディスク/フォルダ/グループサーチ

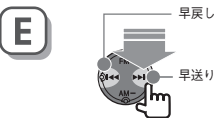
(ディスクチェンジャー、MP3/WMAメディア、グループ登録済みMD、KSFのみ)

プレイするディスクやフォルダを選びます。



## マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

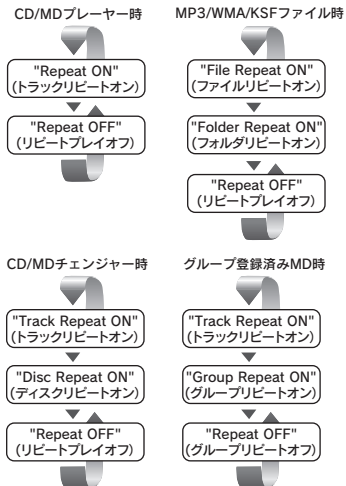
- MP3/WMAファイルをプレイ時は、マニュアルサーチ中に音は出ません。
- KSFをプレイ時は、マニュアルサーチできません。

## リピートプレイ

現在聴いている曲またはディスク/フォルダ/グループ内の曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、次のようにオン/オフします。



- "Group Repeat ON" は「メニュー設定」(42ページ)で「MD Group」項目が「ON」のときに選択できます。



f-CD07では、CD/MP3/WMAや別売品のディスクチェンジャー、CDプレーヤーでいろいろな機能を使ってプレイします。

f-CD05/CD05Sでは、CDや別売品のディスクチェンジャー、CDプレーヤーでいろいろな機能を使ってプレイします。

f-MD07では、MDや別売品のディスクチェンジャー、CDプレーヤーでいろいろな機能を使ってプレイします。

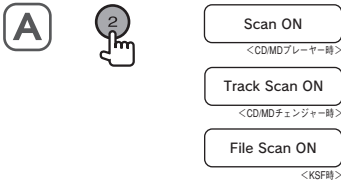
また、別売品のディスクチェンジャー、HDX-710の音楽ファイル (KSF) ソースでいろいろな機能を使ってプレイします。

基本的なCD/MDの聴きかたはEZ Operation (12ページ) をご覧ください。

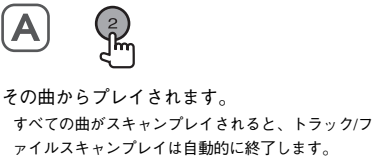
## スキャンプレイ

ディスクやフォルダ、グループ内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探します。

### 1 スキャンプレイを開始します

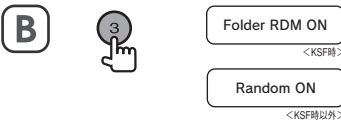


### 2 聴きたい曲のところで...



## ランダムプレイ

現在のディスクやフォルダ、全グループ内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。

- を押し、 を押し、次の曲をランダムに選択します。(KSFプレイ時は または を押します)
- 全グループ内の曲をランダムプレイ中に、グループサーチはできません。

## マガジンランダムプレイ (ディスクチェンジャーのみ)

ディスクチェンジャーにセットされているディスクの中からランダムな順でプレイします。



押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。

- を押し、次の曲をランダムに選択します。

## グループランダムプレイ (グループ登録済みMDのみ)

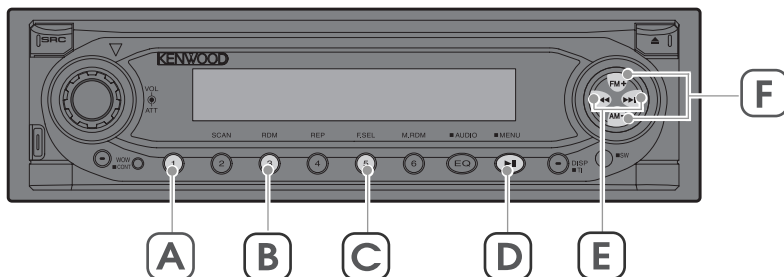
グループ登録済みMDを再生中にグループ内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、グループランダムプレイがオン/オフされます。

- を押し、次の曲をランダムに選択します。

# CD/MP3/WMA/MD/Changer/KSFモード



## テキストスクロール

ディスプレイのテキスト表示をスクロール設定が「Manual」のときにスクロールさせます。

### 1 テキスト表示にします

下記を参照してディスプレイにテキストを表示します。

- 「ディスプレイタイプ選択」(29ページ)
- 「文字情報表示選択 (ディスプレイ上段)」(30ページ)
- 「文字情報表示選択 (ディスプレイ下段)」(32ページ)

### 2 スクロールします



押すと、表示中のテキストが1回スクロールします。

- スクロール設定を「Auto」にしているときに上記の操作を行うと、タイトルが最初の文字からスクロールを開始します。スクロール設定の方法は、「メニュー設定」(42ページ)を参照してください
- スクロールが可能なテキスト表示については、「Help ?Word」の「Scroll」(71ページ)を参照してください。

## フォルダセレクト (f-CD07)

(MP3/WMAメディアのみ)

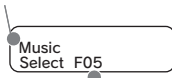
聴きたいMP3/WMAの曲が入っているフォルダをすばやく選択します。

### 1 フォルダセレクトモードにします



ディスプレイに以下の表示がされます。

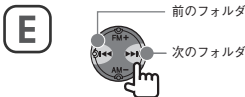
フォルダ名前表示  
フォルダ名前を表示します。



フォルダナンバー表示  
現在選択されているフォルダが属するフォルダ内での番号を表示します。

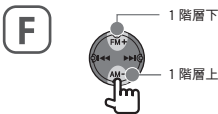
## 2 フォルダを選びます

同階層内にあるフォルダ間を移動します



押すたびに、同階層内で次のフォルダ／前のフォルダへと移動します。

フォルダの階層を選択します



押すたびに、1階層上/1階層下へと移動します。

第1階層へ戻ります (Root Jump)



現在聴いているメディアの最上階層のフォルダに戻ります。

フォルダセレクト時のフォルダの移動のしかたは、フォルダサーチとは異なります。くわしくは「Help? MP3/WMA」(64ページ)を参照してください。

## フォルダネームをスクロールするときは



## 3 聴きたい曲が入っているフォルダで…



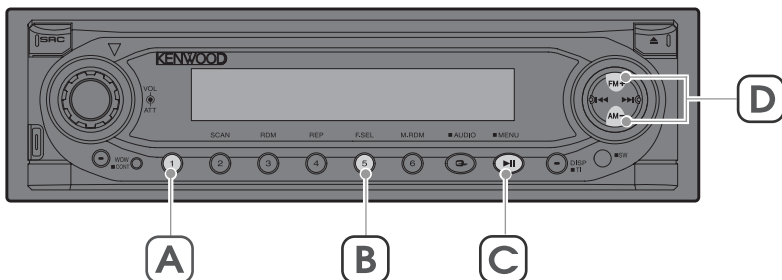
フォルダ選択モードが終了し、そのフォルダ内の最初のMP3/WMAファイルがプレイされます。

- フォルダ選択モードを終了して、選択したフォルダにMP3/WMAファイルがないときは、プレイ順で一番近いファイルがプレイされます。

## フォルダセレクトを中止するときは…



# CD/MP3/WMA/MD/Changer/KSFモード



## グループセレクト (f-MD07)

(グループ登録済みMDのみ)

聴きたい曲が入っているグループ名を表示してグループを選択します。

### 1 グループセレクトモードにします



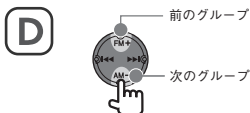
ディスプレイに以下の表示がされて、1グループから表示します。

グループタイトル表示  
グループタイトルを表示します。

Music  
Select G05

グループナンバー表示  
選択しているグループの番号を表示します。

### 2 グループを選びます



押すたびに、次のグループ/前のグループへと移動します。

グループセレクト時のフォルダの移動のしかたは、グループサーチとは異なります。くわしくは「Help? MD Group」(66ページ)を参照してください。

グループタイトルをスクロールするときは



3 聴きたい曲が入っているグループで…



グループセレクトモードが終了し、そのグループ内の最初の曲がプレイされます。

グループセレクトを中止するときは…



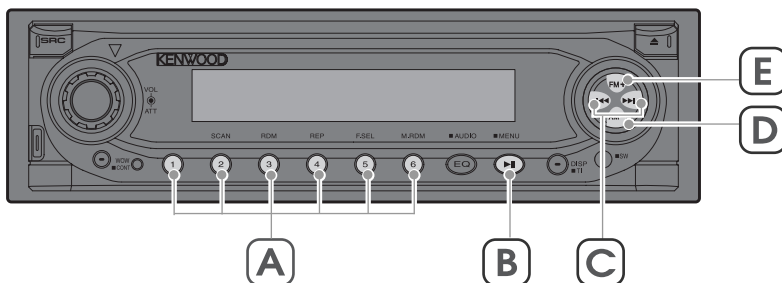
## ポーズ

現在プレイ中の曲を一時停止します



もう一度押すとプレイを再開します。

# TUNER モード



## バンド切り替え

FM1とFM2に切り替えます。



AM1とAM2に切り替えます。



## チューニング

受信する放送局を選びます。

### 1 バンドを選びます

前記の“バンド切り替え”を参照してバンドを選びます。

### 2 放送局を選びます



チューニングモードが“Auto1”のとき受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

チューニングモードが“Auto2”のときメモリーされている放送局を番号順に受信します。

チューニングモードが“Manual”のとき押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

- チューニングモードは「メニュー設定」(42ページ)の“Seek Mode”項目で選択できます。
- 「ディスプレイタイプ選択」(29ページ)で“Display Type A”の“②文字情報”(ディスプレイ下段)部に“Indicator”(32ページ)が選択されているときに、FMステレオ放送を受信するとSTインジケータが点灯します。

## マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

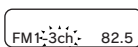
### 1 バンドを選びます

前記の“バンド切り替え”を参照してバンドを選びます。

### 2 放送局を選びます



### 3 メモリーするボタン(1~6のいずれか)を選びます



ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

FM/AM放送を受信します。  
また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

基本的なFM/AM放送の聴きかたはEZ Operation（12ページ）をご覧ください。

## オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

### 1 バンドを選びます

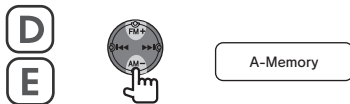
前記の“バンド切り替え”を参照してバンドを選びます。

### 2 メニューモードにします



“Menu”と表示されるまで押し続けます。

### 3 オートメモリー項目を選択します



### 4 オートメモリーを開始します



周波数表示が次々に変わるまで押し続けます。

- 6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

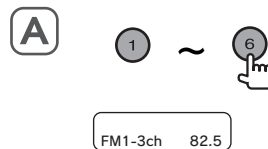
## プリセットチューニング

メモリーボタン（1～6）にメモリーされている放送局を受信します。

### 1 バンドを選びます

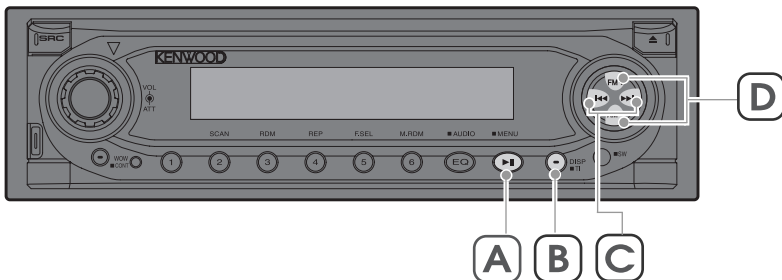
前記の“バンド切り替え”を参照してバンドを選びます。

### 2 メモリーボタン（1～6のいずれか）を選びます



押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされている周波数が呼び出されます。

# Name Set



**DNPS** (ディスクネームプリセット) /  
**SNPS** (ステーションネームプリセット)  
CDとFM/AM放送局に名前を付けます。

## 1 名前を付けるCD/放送局を選びます

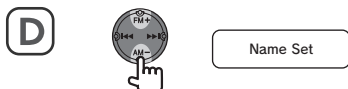
- MP3/WMAおよびMDにDNPSを行うことはできません。
- 交通情報モード中に受信している放送局も同様の操作で名前を付けることができます。

## 2 メニューモードにします



“Menu” と表示されるまで押し続けます。

## 3 ネームセット項目を選択します

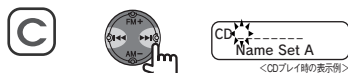


## 4 DNPS/SNPSを開始します



“Name Set” と表示されるまで押し続けます。

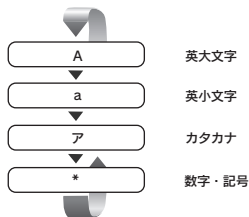
## 5 文字を入力する位置にカーソルを移動します



## 6 文字の種類を選びます



押すたびに次の順で切り替わります。





FM/AM放送局やf-CD07/CD05/CD05S内蔵CDプレーヤーと別売品のCDチェンジャー/CDプレーヤーにセットされているCDに名前を付けて表示させることができます。

## 7 文字を選びます

D



CD Name Set A  
<CDプレイ時の表示例>

## 8 5~7を繰り返して、すべての文字を入力します

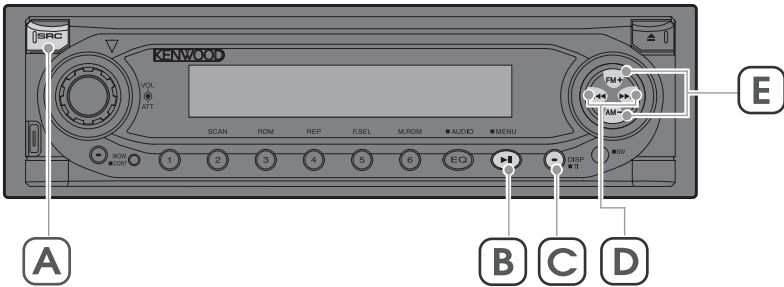
## 9 DNPS/SNPSを終了します

B



- 10秒間以上何も操作しないと、その時点で名前が確定されます。
- 名前はDNPSで12文字、SNPSで8文字まで登録できます。
- CDはトラック数（曲数）と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDの場合には識別できません。
- バッテリーから外すとDNPS/SNPSは消去されます。
- 登録した名前を変更するには、変更したいCDや放送局の名前を表示させたあと、同様の操作で変更できます。
- SNPSで登録できる局数は、FM放送局とAM放送局の合計で30局です。
- 本機(f-CD07/CD05/CD05S)にDNPSで登録できる枚数は10枚です。また、接続しているCDプレーヤーまたはCDチェンジャーにDNPSできる枚数は機種により異なります。詳しくは、CDチェンジャーまたはCDプレーヤーに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 登録したディスクの名前を選択して、ディスクをプレイすることもできます。詳しくは「SBF」(54ページ)をご覧ください。

# Name Set



## AUXネームセレクト

AUXに切り替えたときの表示を設定します。

### 1 AUXソースにします

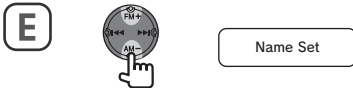


### 2 メニューモードにします



“Menu” と表示されるまで押し続けます。

### 3 ネームセット項目を選択します



### 4 ネームセットモードに入ります



“Name Set” と表示されるまで押し続けます。

### 5 AUXネームを選択します



押すたびに次の順で切り替わります。



### 6 ネームセットモードを終了します



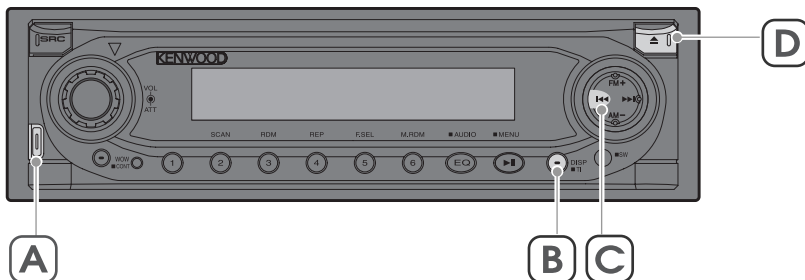
● 10秒間以上何も操作しないと、その時点での名前が選択されます。



Functional Operation

Name Set

# ディスプレイコントロール



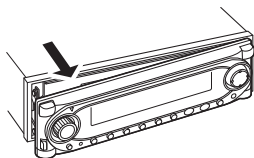
## ● パネル取り外し

操作パネルを取り外します。

### 1 操作パネルのロックを外します



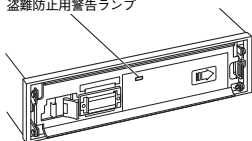
### 2 操作パネルを取り外します



パネルのロックが外れたらパネルの左側を引きます。

- 電源がオンの時にパネルを取り外すと電源がオフになります。
- 「メニュー設定」(42ページ)の“DSI”項目が“ON”になっていると、盗難防止用警告ランプが点滅します。

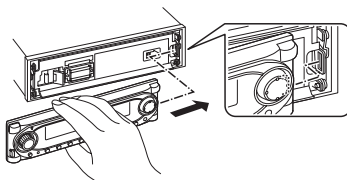
盗難防止用警告ランプ



## ● パネル取り付け

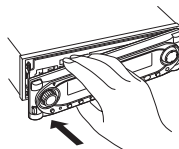
操作パネルを取り付けします。

### 1 操作パネルを取り付けます



本体の右側シャフト部にパネルを合わせて押し込みます。

### 2 操作パネルを本体にロックさせます



ディスプレイの表示タイプや表示する情報の設定をします。  
また、盗難防止のためのパネルの取り外しもできます。

## 操作パネル角度調節

操作パネルの角度を調整します。

### 1 操作パネルの角度を調整します



! 角度調整は3段階まで可能です。

## ディスプレイタイプ選択

ディスプレイの表示タイプを切り替えます。

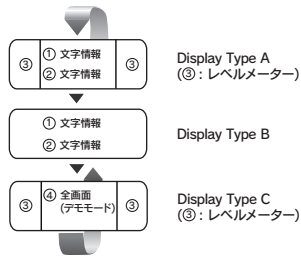
### 1 ディスプレイモードにします



### 2 ディスプレイタイプを選択します

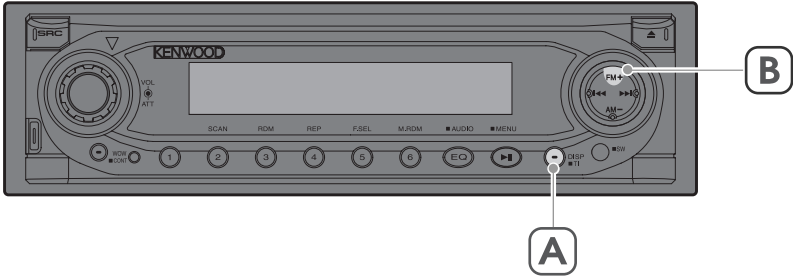


押すたびに次の順で切り替わります。



- “①文字情報”の切り替えかたは「文字情報表示選択（ディスプレイ上段）」（30ページ）を参照してください。
- “②文字情報”の切り替えかたは「文字情報表示選択（ディスプレイ下段）」（32ページ）を参照してください。
- “③レベルメーター”の切り替えかたは「レベルメーター表示選択」（34ページ）を参照してください。
- “④全画面”の切り替えかたは「全画面表示選択」（35ページ）を参照してください。

# ディスプレイコントロール



## 文字情報表示選択 (ディスプレイ上段)

ディスプレイタイプがDisplay Type AまたはDisplay Type B のときに“①文字情報” (ディスプレイ上段) を切り替えます。

### 1 ディスプレイ表示切替モードにします

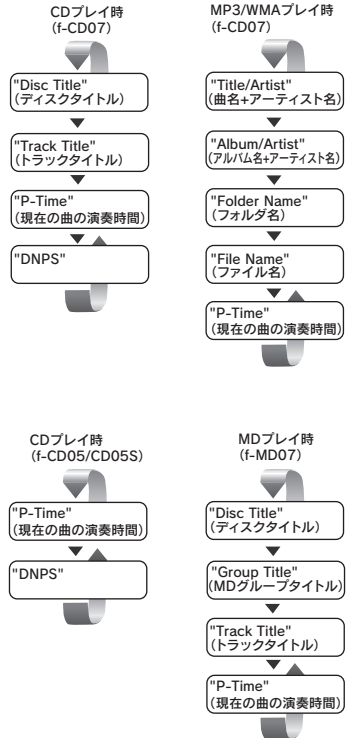
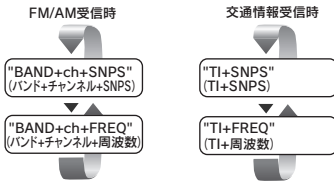


- 手順 2 の“①文字情報” (ディスプレイ上段) が表示される位置は「ディスプレイタイプ選択」(29ページ) を参照してください。
- Display Type A で“①文字情報” (ディスプレイ上段) (30ページ) と“②文字情報” (ディスプレイ下段) (32ページ) とは、同じ情報は選択できません。

### 2 “①文字情報” (上段) を選択します



押すたびに次の順で切り替わります。



外部接続CD/MDプレーヤー/  
チェンジャープレイ時

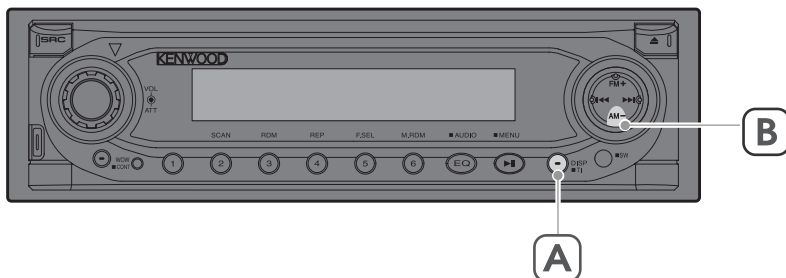


- テキスト情報がないCDまたはMDをプレイ中に“Disc Title”、“Group Title”または“Track Title”が選択されると“P-Time”が表示されます。
- WMAファイルをプレイ中は、アルバム名の表示はできません。
- “Group Title”はグループ登録済みMDでのみ選択できる表示です。

### 3 ディスプレイ表示切替モードを終了します



# ディスプレイコントロール



## 文字情報表示選択 (ディスプレイ下段)

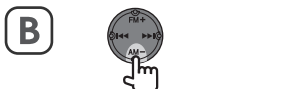
ディスプレイタイプがDisplay Type AまたはDisplay Type B のときに “②文字情報” (ディスプレイ下段) を切り替えます。

### 1 ディスプレイ表示切替モードにします



- 手順 2 の “②文字情報” (ディスプレイ下段) が表示される位置は「ディスプレイタイプ選択」(29ページ) を参照してください。
- Display Type A で “①文字情報” (ディスプレイ上段) (30ページ) と “②文字情報” (ディスプレイ下段) (32ページ) とは、同じ情報は選択できません。

### 2 “②文字情報” (下段) を選択します

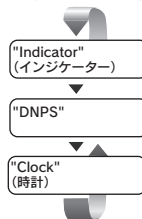


押すたびに次の順で切り替わります。

<Display Type A 時> FM/AM/TV/交通情報受信/AUXソース/STANDBY時



<Display Type A 時> CDプレイ時 (f-CD05/CD05S)



<Display Type A 時>

CDプレイ時 (f-CD07)



<Display Type A 時>

MP3/WMAプレイ時 (f-CD07)





## &lt;Display Type A 時&gt;

MDプレイ時  
(f-MD07)"Indicator"  
(インジケーター)"Clock"  
(時計)"Disc Title"  
(ディスクタイトル)"Group Title"  
(MDグループタイトル)"Track Title"  
(トラックタイトル)

## &lt;Display Type A 時&gt;

外部接続CD/MDプレーヤー/  
Changerプレイ時"Indicator"  
(インジケーター)"Clock"  
(時計)"Disc Title"  
(ディスクタイトル)"Track Title"  
(現在の曲の演奏時間)"DNPS"  
(CDプレイ時のみ)

## &lt;Display Type B 時&gt;

全ソース中

表示なし

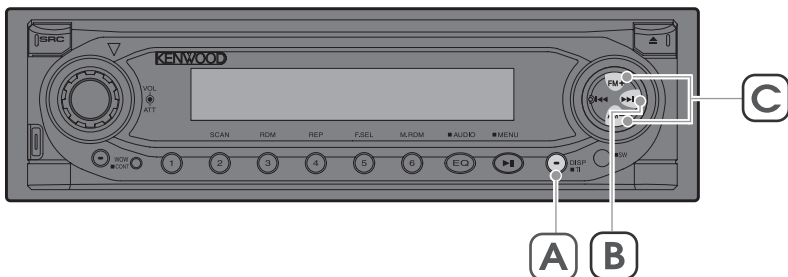
"Clock"  
(時計)

- テキスト情報がないCDまたはMDをプレイ中に“Disc Title”、“Group Title”または“Track Title”が選択されると“Indicator”の表示になります。
- WMAファイルをプレイ中は、アルバム名の表示はできません。
- “Group Title”はグループ登録済みMDでのみ選択できる表示です。

## 3 ディスプレイ表示切替モードを終了します



# ディスプレイコントロール



## レベルメーター表示選択

ディスプレイタイプがDisplay Type AまたはDisplay Type C のときにレベルメーターを切り替えます。

### 1 ディスプレイ表示切替モードにします

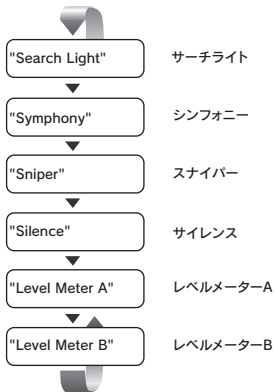


手順2の“③レベルメーター”が表示される位置は「ディスプレイタイプ選択」(29ページ)を参照してください。

### 2 “③レベルメーター” を選択します



押すたびに次の順で切り替わります。



「メニュー設定」(42ページ)の“Zone 2 (ON/OFF)”項目が“ON”に設定されているときは、レベルメーターの選択はできません。

### 3 ディスプレイ表示切替モードを終了します



## 全画面表示選択

ディスプレイタイプがDisplay Type C のときに全画面表示（デモモード）に切り替えます。

### 1 ディスプレイ表示切替モードにします



● 手順2の“④全画面”が表示される位置は「ディスプレイタイプ選択」(29ページ)を参照してください。

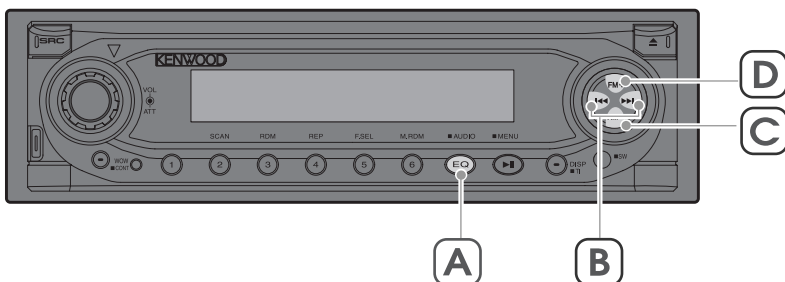
### 2 “④全画面”を選択します



### 3 ディスプレイ表示切替モードを終了します



# オーディオコントロール



## オーディオコントロール

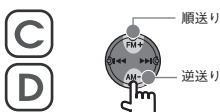
音量バランスなどを設定します。

### 1 オーディオコントロールモードにします

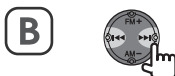


“Audio Control”が表示されるまで押し続けます。

### 2 設定する項目を選択します



### 3 設定値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

- \*マークが付いた項目の詳細な機能については、「Help ?Word」(68ページ)をご覧ください。
- “Bass”、“MID”、および“TRE”はSTANDBY以外の各ソースごとに設定できます。
- “Bass FRQ”、“Bass Q”、“Bass EXT”、“MID FRQ”、“Middle Q”および“TRE FRQ”の値は「メニュー設定」(42ページ)の“dB PRO”項目が“OFF”のときは設定できません。

設定項目	設定値
Bass FRQ* (低音中心周波数)	60/70/80/ 100または150(Hz)
Bass (低音)	-8~+8
Bass Q* (低音クオリティファクター)	1.00/1.25/1.50/2.00
Bass EXT* (低音中心周波数伸張)	ON/OFF
MID FRQ* (中低音中心周波数)	0.5k/1.0k/1.5k/2.0k(Hz)
MID (中低音)	-8~+8
Middle Q* (中低音クオリティファクター)	1.0/2.0
TRE FRQ* (高音中心周波数)	10.0k/12.5k/15.0k/ 17.5k (Hz)
TRE (高音の音量レベル)	-8~+8
Balance (左右の音量レベル)	L15~R15
Fader (前後の音量レベル差)	R15~F15
SW Level (サブウーファー出力レベル)	-15~+15
HPF* (低音カット)	THRU/100/125/ 170 (Hz)
LPF SW* (サブウーファー高音カット)	50/80/120/THRU (Hz)
Volume Offset* (ソース間のレベル差)	-8~0
Navi Volume* (ナビ音声ガイド時の音量調整)	00~25

音量バランスの調節やサブウーファー追加時のクロスオーバーネットワークの設定などをします。  
また、ジャンル別にメモリーされているオーディオ設定やSRS WOW設定、WOWコントロールを呼び出します。

- “SW Level” および “LPF SW” は「メニュー設定」(42ページ)の“SWPRE”項目が“Sub-W”に設定されていて、「サブウーファー出力設定」(37ページ)が“Sub-W ON”のときに設定できます。
- “Bass FRQ”、“Bass”、“Bass Q”、“Bass EXT”、“MID FRQ”、“MID”、“Middle Q”、“TRE FRQ”、および“TRE”の値は「dBイコライザー」(38ページ)で設定した値に置き換えられます。
- Bass FRQ (低音中心周波数)の設定可能な周波数は、Bass Q (低音クオリティファクター)の設定値により以下のように変わります。

Bass Q 設定値	Bass FRQ設定可能値
1.00/1.25/1.50	60/70/80/100(Hz)
2.00	60/70/80/150(Hz)

- “Navi Volume” はf-CD07およびf-MD07で「メニュー設定」(42ページ)の“Guide”項目が“INT”に設定されているときに調整できます。
- 「メニュー設定」(42ページ)の“Zone 2 (ON/OFF)”項目が“ON”に設定されているときは、“SW Level”、“HPF”および“LPF SW”の設定はできません。

#### 4 オーディオコントロールを終了します



### サブウーファー出力設定

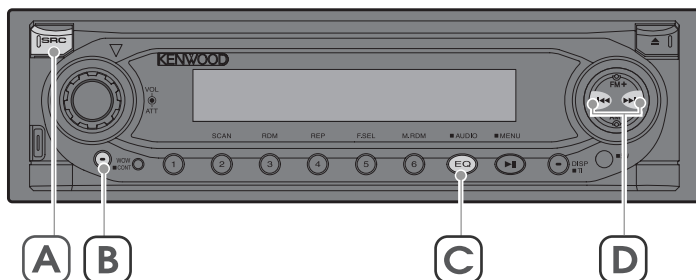
サブウーファー出力のオン/オフを切り替えます。



1秒以上押すたびに、サブウーファー出力がオン/オフします。

- サブウーファー出力設定は「メニュー設定」(42ページ)の“SWPRE”項目が“Sub-W”に設定されているときに可能です。
- 「メニュー設定」(42ページ)の“Zone 2 (ON/OFF)”項目が“ON”に設定されているときは、サブウーファー出力設定はできません。
- 「メニュー設定」(42ページ)の“Zone 2 (ON/OFF)”項目が“ON”に設定されているときは、サブウーファーから音は出力されません。

# オーディオコントロール



## dBイコライザー

ジャンル別に設定された音質を呼び出して、その効果の強弱を設定します。

### 1 設定するソースにします



### 2 dBイコライザーモードにします



### 3 dBイコライザーを選択します



押すたびに次の順でメモリーされている音質に切り替わります。

- “Natural” に設定するとイコライザーのかからない音質を呼び出します。
- “USER” は「オーディオコントロール」(36ページ) で設定した音質を呼び出します。
- それぞれの音質の特徴については「Help ?Word」(68ページ)をご覧ください。



### 4 効果の強弱を選択します



dBイコライザー表示中に押すとそのたびに、“HIGH” と “LOW” とに切り替わります。

- “Natural” または “USER” を選択中は切り替えられません。
- 3秒以上何も操作しないと、自動的に設定が終了します。

## SRS WOW設定

(f-CD07およびf-MD07のみ)

SRS WOWの設定を呼び出します。

### 1 SRS WOWモードにします

**B**



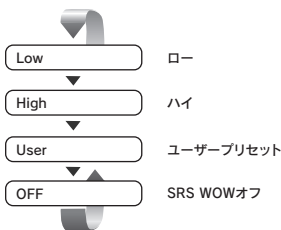
SRS WOW

### 2 SRS WOWを選択します

**B**



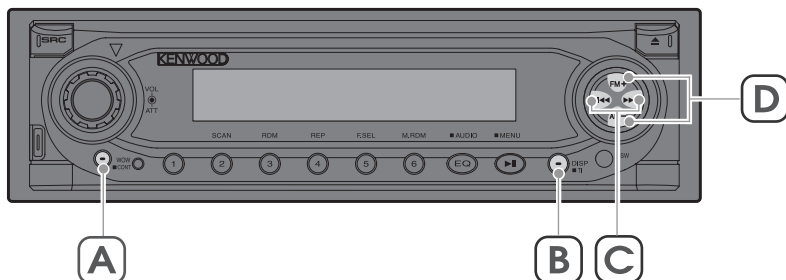
押すたびに次の順で切り替わります。



- 3秒以上何も操作しないと、自動的に設定が終了します。
- SRS WOWの詳細な説明については、「Help?Word」(68ページ)をご覧ください。
- 各設定は「WOWコントロール」(40ページ)の“FOCUS”、“TruBass”および“SRS 3D”の値を一括して設定します。設定値は以下のようになります。

SRS WOW	FOCUS	TruBass	SRS 3D
Low	Low	ON	ON
High	High	ON	ON
User	「WOWコントロール」(40ページ)で設定した値を呼び出します。		
OFF	OFF	OFF	OFF

# オーディオコントロール



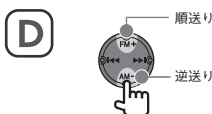
## WOWコントロール (f-CD07およびf-MD07のみ)

低音、音場および音像の効果を設定します。

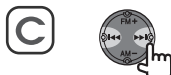
### 1 WOWコントロールモードにします



### 2 設定する項目を選択します



### 3 値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
FOCUS (音像の上下の設定)	Low/High/OFF
TruBass (低音部の強調設定)	ON/OFF
SRS 3D (音場の立体設定)	ON/OFF

- 各設定項目の詳しい機能については、「Help?Word」(68ページ)をご覧ください。
- “SRS 3D”は、Tunerモード中または交通情報受信中は設定できません。
- 各設定項目の値は「SRS WOW設定」(39ページ)で設定した値に置き替えられます。

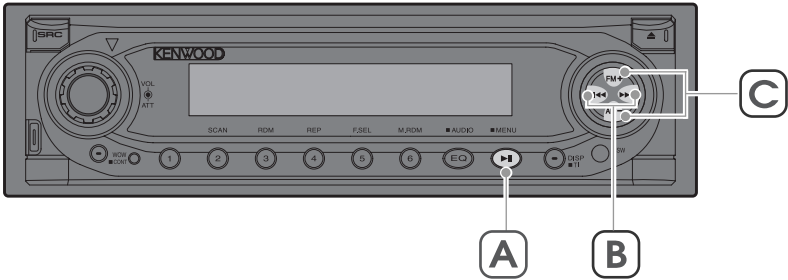
### 4 WOWコントロールを終了します







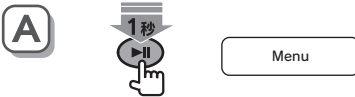
# Menu



## メニュー設定

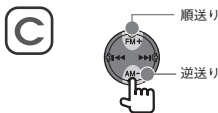
操作時のビープ音などの各種の機能を設定します。

### 1 メニューモードにします

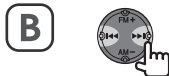


“Menu” と表示されるまで押し続けます。

### 2 設定する項目を選択します



### 3 値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

- \*マークが付いた項目の詳細い機能については、「Help ?Word」(68ページ)をご覧ください。また、“Zone 2 (Rear/Front)” および “Zone 2 (ON/OFF)” 項目は「Dual Zoneシステム」(70ページ)を参照してください。
- “Zone 2 (Rear/Front)” 項目は、Changer、AUX、AUX EXTまたはHDD EXTモード中の“Zone 2 (ON/OFF)” 項目が“OFF”のときに設定できます。
- “Zone 2 (ON/OFF)” 項目が“ON”のときは、サブウーファーから音は出力されません。

## すべてのモード中

設定項目	設定値
Beep* (ビープ音)	ON/OFF
Clock ADJ (時計調整)	調整の方法は46ページをご覧ください。
DSI* (盗難防止用警告ランプ設定)	ON/OFF
Button (ボタン色の設定)	Green/Red
Dimmer* (車両ライトがオン時の減光設定)	ON/OFF
dB PRO* (オーディオコントロールのFRQやQ、EXT項目の表示設定)	ON/OFF
AMP Bass* (外部アンプ低音出力コントロール)	Flat/+6/+12/+18
AMP FREQ* (外部アンプ低音周波数コントロール)	Normal/Low
Scroll* (テキスト表示のスクロール設定)	Auto/Manual
AUX* (内蔵AUXソースの切り替え設定)	ON/OFF

(太字：初期設定値)

- “AUX” 項目は、f-CD07およびf-MD07でのみ設定できます。また、AUXモード中は設定できません。

## LXアンプ接続時のみ

設定項目	設定値
AMP Control (LXアンプコントロールの設定)	設定の方法は47ページをご覧ください。

本機のいろいろな機能を設定します。

**STANDBYモード中のみ**

設定項目	設定値
Security* (セキュリティーコードの登録設定)	設定の方法は44ページをご覧ください。
SWPRE* (スイッチングプリアウト出力選択)	Rear/Sub-W
AMP Mute* (内蔵アンプの出力停止設定)	ON/OFF
Guide* (ナビ音声ガイド時の割り込み/ミュート設定)	OFF/ATT/INT
CD READ* (CD READ設定)	1/2
MD Group* (MDグループ設定)	ON/OFF

(太字：初期設定値)

- “AMP Mute” 項目を “OFF” に設定するとビープ音は出力されません。
- “Guide” 項目の “INT” は、f-CD07およびf-MD07でのみ設定できます。
- “CD READ” 機能はf-CD07でのみ設定できます。
- “MD Group” 機能はf-MD07でのみ設定できます。

**CDモード中のみ (f-CD07/CD05/CD05S)**

設定項目	設定値
Name Set (CDのネーミング設定)	設定の方法は24ページをご覧ください。

**TUNERモード中のみ**

設定項目	設定値
Seek Mode* (チューニングモード設定)	Auto1/Auto2/Manual
A-Memory (放送局のオートメモリー設定)	設定の方法は23ページをご覧ください。
MONO* (モノラル受信設定)	ON/OFF
Name Set (FM/AM放送局のネーミング設定)	設定の方法は24ページをご覧ください。

(太字：初期設定値)

● “MONO” 項目はFM受信時でのみ設定できます。

**Changer/AUX/AUX EXT/HDD EXTモード中のみ**

設定項目	設定値
Zone 2* (2ゾーンオン/オフ設定)	ON/OFF
Zone 2* (2ゾーン音声出力設定)	Rear/Front
Name Set (CDとAUXのネーミング設定)	設定の方法は24ページまたは26ページをご覧ください。

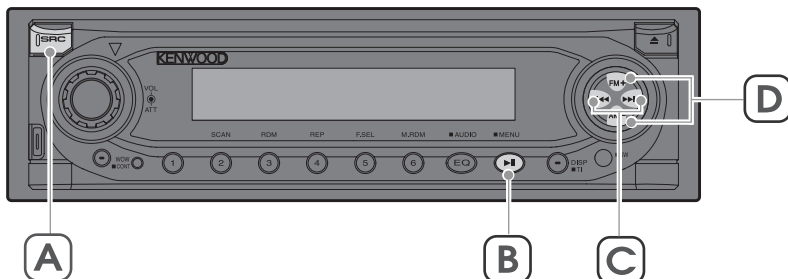
(太字：初期設定値)

● f-LZ77 (別売品) を接続して、TVソースを選択しているときに、“Zone 2 (ON/OFF)” 項目を “ON” に設定するとTVソースの音は出力されません。

**4 メニューモードを終了します**



# Menu



## セキュリティコード

暗証番号を登録することにより盗難を抑制します。

- 設定したセキュリティコードは変更・削除はできません。また、機能の解除もできません。
- コードは忘れないようにメモを取るなどしてください。

### 1 STANDBYモードにします

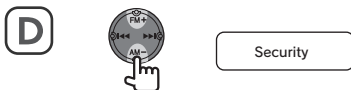


### 2 メニューモードにします



“Menu”と表示されるまで押し続けます。

### 3 セキュリティコード項目を選択します



### 4 セキュリティコード入力を開始します

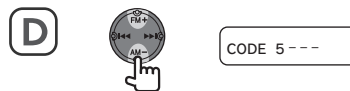


“CODE----”と表示されるまで押し続けます。

### 5 数字を入力する位置にカーソルを移動します



### 6 数字を選択します



### 7 5~6を繰り返して、4つの数字を入力します

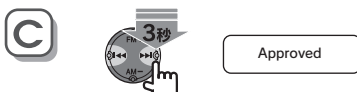
### 8 セキュリティコードを登録します



“Re-Enter”と表示されるまで押し続けます。

**9 セキュリティコードを再入力します**

確認のためセキュリティコードを手順5～7の方法で再度入力します。

**10 セキュリティコードを確認登録します**

“Approved”と表示されるまで押し続けます。セキュリティコードの登録が完了し、この機能がオンになります。

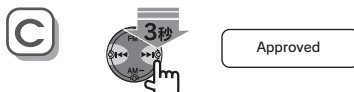
セキュリティコードの登録が完了後に、リセットボタンを押したり、本機をバッテリーの接続から外すと、登録したセキュリティコードの入力になります。詳しくは右記をご覧ください。

- 1回目と違うコードを入力すると、1回目のセキュリティコードの入力に戻ります。


リセットボタンを押したり、本機をバッテリーから外してから最初に使うときは・・・

**1 セキュリティコードを入力します**

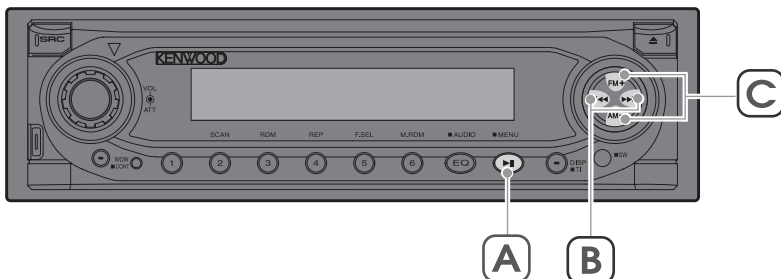
セキュリティコードを手順5～7の方法で入力します。

**2 セキュリティコードを確定します**

“Approved”と表示されるまで押し続けます。本機が使用可能となります。

- セキュリティコードを登録したときと違うコードで入力すると電源が自動的にオフになります。このようなときは、を押して電源をオンしてから再度セキュリティコードを入力してください。

# Menu



## 時計調整

時刻を合わせます。

### 1 メニューモードにします



“Menu”と表示されるまで押し続けます。

### 2 時計調整項目を選択します



### 3 時刻合わせを開始します



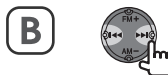
または を時計が点滅表示するまで押し続けます。

### 4 時刻を合わせます

“時”を合わせる



“分”を合わせる



### 5 時刻合わせを終了します



分を調整した時は、“00”秒からカウントがスタートします。  
メニューモードを終了するときには、もう一度押します。

## LXアンプコントロール

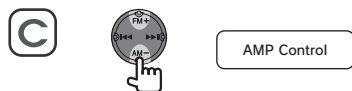
別売品のLXアンプが接続されているときに、本機からコントロールすることができます。

### 1 メニューモードにします



“Menu” と表示されるまで押し続けます。

### 2 アンプコントロールモードを選択します



### 3 アンプコントロールモードにします



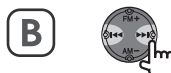
“AMP Control” と表示されるまで押し続けます。

### 4 調整するアンプコントロール項目を選択します



● アンプコントロール項目の詳細については、LXアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

### 5 アンプコントロール項目を調整します

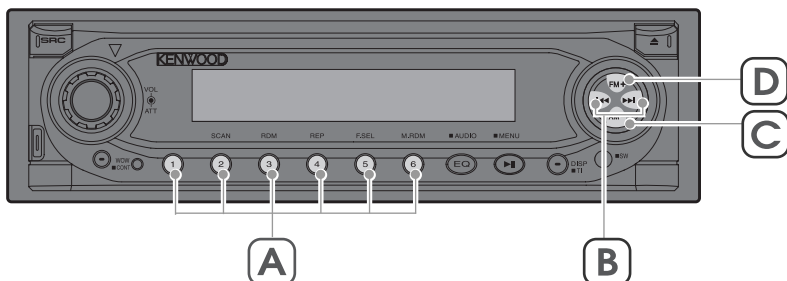


### 6 アンプコントロールモードを終了します



● LXアンプはSTANDBYモード中は操作できません。

# TVコントロール



## チューニング

受信するTV放送を選びます。

**B**



動作は接続している別売品のTVモニターの設定によって異なります。  
詳しくは、TVモニター取扱説明書を参照してください。

## バンド/ビデオ切り替え

TV放送のバンドとビデオ入力を切り替えます。

**D**



押すたびにTVバンドの放送局とビデオ入力が切り替わります。

## プリセットチューニング

TVのプリセットチャンネルにメモリーされているチャンネルを選びます。

### 1 バンドを選択します

**D**



### 2 メモリーボタン (1~6のいずれか) を選びます

**A**



「プリセットメモリー」の方法はTVモニターに付属の取扱説明書を参照してください。



別売品のLX BUS TVモニター“HDX-710”などが接続されているときに、本機からコントロールすることもできます。

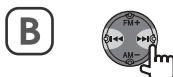
## マニュアルメモリー

受信中のTV放送局をメモリーします。

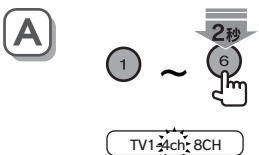
### 1 バンドを選択します



### 2 メモリーする放送局を選択します



### 3 メモリーするボタン (1~6のいずれか) を選びます



ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

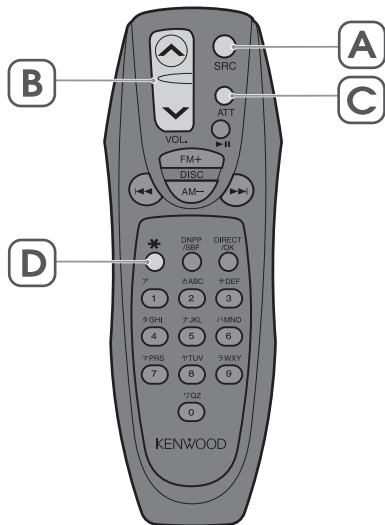
## 音声多重切り替え

音声多重のメイン音声とサブ音声を切り替えます。



# リモートコントロール

## 各モード共通



### ソース切り替え

A



プレイするソースを切り替えます。

### 音量調節

B



音量を調節します。

### アッテネーター

C



ワンタッチで音量を小さくします。もう一度押すと、元の音量に戻ります。

### 操作パネル角度調整

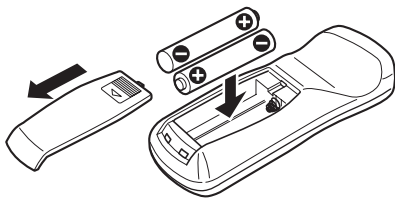
D



操作パネルの角度を調整します。

## 電池の入れかた

付属の電池（単3形2本）を＋／－の向きを正しく合わせて入れてください。



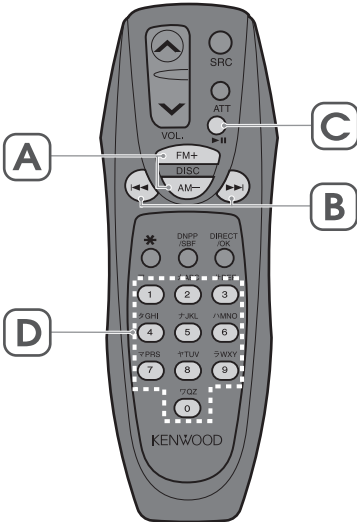
● 操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、乾電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、2個とも新しい乾電池と交換してください。新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、液漏れなどによる故障の原因になります。



### 注意

- リモコンは、ブレーキ操作などによって動かない場所においてください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。
  - 電池を炎の中に入れたり、高温による場所に置かないでください。破裂することがあります。
  - 電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れたりしないでください。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入ったり、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。
- また、電池は子供の手が届かないところに置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

## CD/MP3/WMA/ MD/Changer/KSF モード



### ディスクサーチ (ディスクチェンジャーのみ) / フォルダグループサーチ

A



プレイするディスク/フォルダ/グループを選択します。  
また、ディスク選択時にテンキーに続けて押すと、指定した番号のディスクをダイレクトサーチします。

### トラックサーチ/ファイルサーチ

B



プレイする曲/ファイルを選択します。  
また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のトラック/ファイルをダイレクトサーチします。

### プレイ/ポーズ

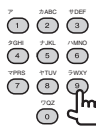
C



プレイを一時停止します。  
もう一度押すと、プレイを再開します。

### テンキー

D



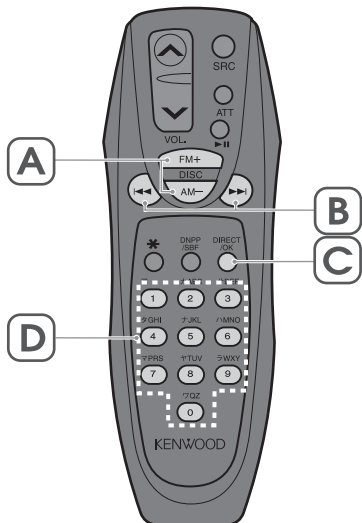
テンキーに続けてディスクサーチまたはトラックサーチキーを押すと、ダイレクトサーチできます。  
MP3ファイルをプレイ時はテンキーに続けてファイルサーチキーを押すとプレイ中のフォルダ内のファイルをダイレクトサーチできません。



KSFをプレイ時は、ダイレクトサーチできません。

# リモートコントロール

## TUNER モード



### バンド切り替え

A



受信するバンドを切り替えます。

### 選曲

B



受信する放送局を切り替えます。

### ダイレクトチューニング

C

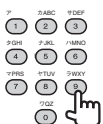


このボタンに続けて、受信する放送局をテンキーで指定します。  
例：76.1MHz(FM)の場合（3桁）

⑦ ⑥ ①  
例：0522kHz(AM)の場合（4桁）  
⑦ ⑤ ② ②

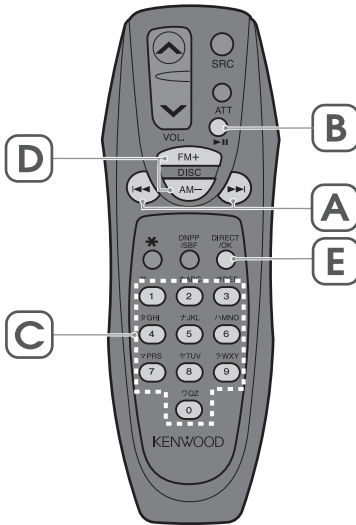
### テンキー

D



メモリーされている放送局の番号を選択します。（①～⑨）  
ダイレクトサーチキーに続けて、受信するFM/AM放送局の周波数の数字を指定します。

## DNPS (ディスクネームプリセット) / SNPS (ステーションネームプリセット)



### カーソル

A



カーソルを文字を入力する位置に移動します。

### 文字種切り替え

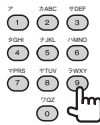
B



入力する文字の種類 (英大文字/  
英小文字/数字・記号/カタカナ)  
を切り替えます。

### テンキー

C



文字を入力します。  
例: 「コ」を入力する場合  
(カタカナ)  
② (5回押す)  
例: 「h」を入力する場合  
(英小文字)  
④ (2回押す)

### 文字選択

D



文字を順に切り替えます。

### 終了

E



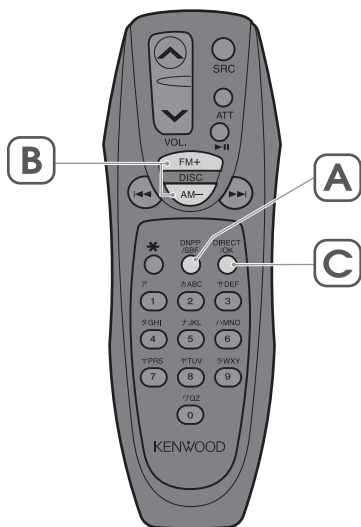
登録が完了します。

❗ DNPS/SNPSを開始する方法は、24ページを参照してください。

# リモートコントロール

## ● SBF (セレクトバイファイルプレイ)

別売品のCDチェンジャーにセットされているCDの中から、DNPSで付けたディスクネームを表示させて探す機能です。(SBFはリモコンだけで使用できる機能です)



### SBFを開始します

A



“DNPP” と表示されてSBFモードになります。  
ディスクネームが5秒間ずつ表示されます。

### 聴きたいディスクの表示順を変えます

B



ディスク名を順送り/逆送りします。

### ディスクを選びます

C



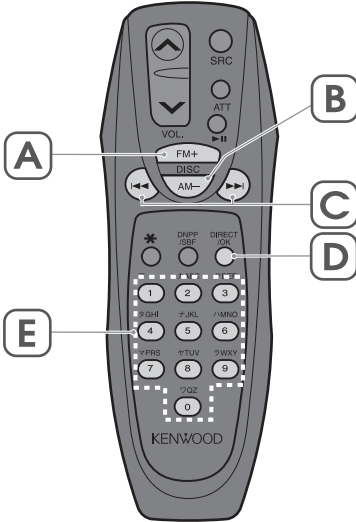
表示中のディスクをプレイします。

### SBFを中止します

A



## ● TVモード



## バンド/ビデオ切り替え

A



受信するTVバンドの放送局とビデオ入力を切り替えます。

## 音声多重切り替え

B



メイン音声/サブ音声を切り替えます。

## チャンネル選択

C



受信するチャンネルを選択します。

## ダイレクトチャンネルセレクト

D



このボタンに続けて、チャンネルをテンキーで指定します。

例：1chの場合

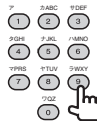
○ 1

例：10chの場合

○ 1 ○ 0

## テンキー

E



メモリーされている放送局の番号を選択します。( 1 ~ 0 )

## 電源がオンにならない

- ヒューズが切れている。
- 入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。
- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- 「接続」(76ページ)を参照して正しく接続し直してください。

## 音が出ない/音が小さい

- フェダー、バランスが片方に寄っている。
- メニュー設定の“AMP Mute”項目が“ON”に設定されている。
- フェダーやバランスを正しく調整してください。(36ページ)
- 「メニュー設定」(42ページ)の“AMP Mute”項目を“OFF”に設定してください。

## 操作スイッチを押しても動作しない

- 内蔵のマイコンが誤動作している。 リセットボタンを押してください。(8ページ)

## 音質が悪い(音がひずむ)

- 音量が大きすぎる。
- スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
- スピーカーの配線が間違っている。
- 音量を適正に調整してください。
- スピーカーの配線を確認してください。
- スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

## チューナーの感度が悪い

- 自動車のアンテナが伸びていない。
- アンテナコントロール電源が接続されていない。
- アンテナ入力がきちんと接続されていない。
- アンテナを十分に伸ばしてください。
- 「接続」(76ページ)を参照して正しく接続し直してください。
- アンテナ入力を確実に接続してください。

## SRCボタンを押しても、望むソースに切り替わらない

- それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。
- 別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。
- 別売品ユニットのO-NスイッチをO側にしている。
- 本機が対応していないディスクチェンジャーを使用している。
- 接続されていないソースには切り替わりません。「接続」(76ページ)を見て正しく接続してください。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)
- O-NスイッチはN側に設定してください。
- 対応モデルのディスクチェンジャーをお使いください。(8ページ)

## オーディオコントロールのサブウーファー項目が表示されない

- メニュー設定の“SWPRE”項目が“Rear”に設定されている。 「メニュー設定」(42ページ)の“SWPRE”項目を“Sub-W”に設定してください。

## オーディオコントロールで表示されない項目がある

- メニュー設定の“dB PRO”項目が“OFF”に設定されている。 「メニュー設定」(42ページ)の“dB PRO”項目を“ON”に設定してください。



## 内蔵AUXを“OFF”に設定してもAUXソースに切り替わる

別売品KCA-S210AのAUXスイッチがONになっている。

KCA-S210Aに付属の取扱説明書を見てAUXスイッチをOFFにしてください。

## CD/MD/Changer mode

### ディスクが入らない

すでにディスクが入っている。

入っているディスクを取り出してから入れてください。

### ディスクのプレイ中に振動で音飛びする

- 取り付け角度が $30^\circ$ を超えている。
- 取り付けが不安定になっている。

- $30^\circ$ 以下になるように取り付けなおしてください。
- しっかりと取り付け直してください。なお、駐停車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

### CDをプレイできない

- CDが裏返しである。
- CDが異常に汚れている。
- 結露している。
- CDが内部的に検出されていない。

- レーベル面を上にして入れ直してください。
- 「CDとMDの取り扱い」(10ページ)を見て、CDをクリーニングしてください。
- しばらく放置してから使用してください。(8ページ)
- リセットボタンを押してCDを取り出してから、再度CDを挿入してください。(8ページ)

### MDをプレイできない

結露している。

しばらく放置してから使用してください。(8ページ)

### MDが引き込まれない

MDを入れる方向が間違っている、または裏返しになっている。

正しい方向で入れてください。

### 選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

ランダムプレイがオンになっている。

ランダムプレイをオフにしてください。(17ページ)

### 同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

トラックリピートプレイがオンになっている。

トラックリピートプレイをオフにしてください。(16ページ)

### 曲の先頭しかプレイされない

トラックスキッププレイがオンになっている。

トラックスキッププレイをオフにしてください。(17ページ)

### チェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない

ディスクリピートプレイがオンになっている。

ディスクリピートプレイをオフにしてください。(16ページ)

## 曲が順にプレイされない

ランダムプレイがオンになっている。

ランダムプレイをオフにしてください。(17ページ)

## ディスクが順に演奏されない

マガジンランダムプレイがオンになっている。

マガジンランダムプレイをオフにしてください。(17ページ)

## 文字がスクロールされない

- 情報文字数が16文字（ディスプレイ上段）以下または14文字（ディスプレイ下段）以下のため。
- ディスクネームを表示しているため。

●表示部に情報文字がすべて表示されている場合はスクロールされません。

●スクロール表示されるのはディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、フォルダネーム、曲名、アルバム名およびアーティスト名です。

## ダイレクトディスクサーチができない

ディスクが1枚しか入っていない。

ディスクを2枚以上挿入してください。

## マガジンランダムができない

ディスクが1枚しか入っていない。

ディスクを2枚以上挿入してください。

## CD-R、CD-RWがプレイできない

- ファイナライズ処理を行っていない。
- CD-R/CD-RW未対応のCDチェンジャーでプレイしている。

●CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。

●CD-R/CD-RW未対応のCDチェンジャーではプレイできません。

## トラック/ファイルサーチできない

最初の曲で前の曲へ、最後の曲で先の曲へトラック/ファイルサーチしようとしている。

ディスク/フォルダリPEAT中などを除き、最初の曲から最後の曲へ、最後の曲から最初の曲へはトラック/ファイルサーチできません。

## ディスクを取り出せない

車両のACCスイッチをオフしてから10分以上経過したため。

ACCスイッチをオフしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。

## CDテキストが表示されない

- 使用しているディスクチェンジャーが1997年以前に発売のディスクチェンジャーで、“O-N”スイッチがない。
- 使用しているディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“O”にしている。
- 1998年以降に発売のディスクチェンジャーを使用してください。
- ディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“N”にしてください。

## MP3/WMA (f-CD07のみ)

### MP3/WMAディスク、MP3/WMAファイルがプレイできない

- ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準拠して記録されていない。
- MP3/WMAファイルに拡張子が付いてない。
- ディスクに傷や汚れがある。
- ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeo (64ページ) に準拠したディスクを使用してください。
- MP3ファイルには“.MP3”を付けて、WMAファイルには“.WMA”を付けてください。
- 「CDとMDの取り扱い」(10ページ)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

### MP3/WMAファイルをプレイ中に音飛びする

- ディスクに傷や汚れがある。
- 「CDとMDの取り扱い」(10ページ)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

### MP3/WMAディスクをプレイ時に雑音が入る/音が出なくなる

- MP3/WMAファイル以外に“.MP3”または“.WMA”拡張子が付いている。
- MP3/WMAファイル以外に付いている“.MP3”または“.WMA”拡張子を消去してください。

### フォルダ名/ファイル名が正しく表示されない

- ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準拠して記録されていない。
- ライティングソフトで扱えない文字を使用して記録した。
- ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeo (64ページ) に準拠したディスクを使用してください。
- ライティングソフトの取扱説明書を参照して使用できる文字で記録してください。

### 演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない

- MP3/WMAファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

### MP3/WMAディスクをプレイするまで時間がかかる

- ディスクに記録されているフォルダ/ファイル階層が多い。
- 最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているディスクを使用すると、プレイされるまで長時間かかる場合があります。

## MP3/WMA (f-CD07のみ)

### MP3/WMAファイルが順番どおりにプレイされない

プレイさせたい順番どおりにライティングソフトで書き込まれなかったため。

ライティングソフトにより異なりますが、ファイル名の頭に“00”～“99”などと入力してから書き込むことで順番を設定できる場合もあります。

### ID3 Tag情報が正しく表示されない

ID3 tagがv1.xに準拠して記録されていない。

ID3 tagをv1.xに準拠して記録してください。

### CD-RWに記録したMP3/WMAファイルがプレイされない

CD-RWの消去を簡易フォーマットで行ったため。

CD-RWを消去するときは、フルフォーマットで行ってください。

### トラック/ファイルサーチできない

最初の曲で前の曲へ、最後の曲で先の曲へトラック/ファイルサーチしようとしている。

ディスク/フォルダリピート中などを除き、最初の曲から最後の曲へ、最後の曲から最初の曲へはトラック/ファイルサーチできません。

## MD Group (f-MD07のみ)

### グループ登録済みMDが登録した順番どおりにプレイされない

- グループ機能を搭載していない編集機などで編集を行った。
- グループタイトルに“/”が付いている。

- グループ機能を搭載した編集機などで、グループを登録し直してください。
- グループ情報が正しく認識できないため、グループタイトルに“/”は付けしないでください。

### ディスクタイトルが正しく表示されない

「メニュー設定」の“MD Group”項目を“OFF”に設定しているため、ディスクタイトルとグループタイトルがすべて表示されている。

「メニュー設定」(42ページ)の“MD Group”項目を“ON”に設定してください。

### 聴きたい曲が選択できない

グループに登録されていない。

「メニュー設定」(42ページ)の“MD Group”項目を“OFF”に設定するか、何らかのグループに登録してください。

## MDグループ機能が働かない

「メニュー設定」の“MD Group”項目を“Off”に設定している。

「メニュー設定」(42ページ)の“MD Group”項目を“ON”に設定してください。

## MDのプレイが1曲目に戻る

「メニュー設定」の“MD Group”項目の設定を行った。

MDをプレイ中に、「メニュー設定」(42ページ)の“MD Group”項目の設定を行うとMDのプレイが1曲目に戻ります。

## Menu

### セキュリティコード項目が表示されない

すでにセキュリティコードを設定してある。

セキュリティコードを一度設定すると変更はできません。このため、ファンクションセット項目から削除されます。

### セキュリティコードを忘れた

セキュリティコードを調べることはできません。

ケンウッドサービスセンターにご相談ください。

## Name Set/SBF

### DNPSができない

- MP3/WMAファイルまたはMDをプレイしている。
- マガジンランダムがオンになっている。

- MP3/WMAファイルまたはMDにDNPSはできません。
- マガジンランダムをオフにしてください。

### 登録したはずのステーションネームが消えた

- FM放送局とAM放送局を合わせて31曲目のステーションネームを登録した。
- 車両のバッテリーを交換などしたため。

- 登録できるステーションネームはFM放送とAM放送局の合計で30局です。
- 本機をバッテリーからはずすとステーションネームは消去されます。

## Name Set/SBF

### 登録したはずのディスクネームが消えた

- 登録できる枚数以上のディスクネームを登録した。
- 本機をバッテリーから外したため。
- 本機 (f-CD07/CD05/CD05S) に登録できる枚数は10枚までです。登録できるディスクネームは接続されたCDチェンジャーによって異なります。詳しくは、CDチェンジャー付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機をバッテリーから外すとディスクネームは消去されます。

### ディスクネームがまちがって表示される

- 総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。 識別する方法はありません。

### 登録したはずのAUXネームが“AUX”に戻る

- 本機をバッテリーから外したため。 本機をバッテリーから外すとAUXネームは“AUX”に戻ります。

### SBFで名前が表示されない

- ディスクネームが登録されていない。
- プレーヤーやマガジンに入っているCDを一度もプレイしていない。
- ディスクネームを登録してください。
- すべてのCDをプレイしてください。

—

f-CD07はMP3/WMAファイルをプレイすることができますが、使用できるMP3/WMAファイルを記録したメディアやフォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

### 使用できるメディア

使用できるMP3/WMAが収録されているメディアはCD-ROM、CD-R、およびCD-RWです。

### プレイできるMP3フォーマット

f-CD07でプレイできるMP3ファイルは、MPEG 1、MPEG 2 Audio Layer 3規格のものです。

### プレイできるWMAフォーマット

f-CD07でプレイできるWMAファイルは以下のフォーマットのものです。

- Windows Media™ Audio 準拠
- サンプリング周波数：44.1 kHz, 48 kHz, 32 kHz
- ビットレート：48 kbps～192 kbps

Windows Media™ Player 9以上の一部の機能を使用すると正常にプレイできない場合があります。

詳しい対応フォーマットに関する情報は、下記URLをご覧ください。

URL:[http://www.kenwood.com/j/products/car\\_audio/q\\_and\\_a.html](http://www.kenwood.com/j/products/car_audio/q_and_a.html)

また、コピープロテクト（著作権保護）されたファイルはプレイできません。

### 使用できるディスクのフォーマット

f-CD07で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。フォーマット名の後ろの文字数は、ファイル名に付けられる最大文字数（区切り文字“.”と拡張子3文字を含む）です。

- ISO 9660 Level 1：12文字
- ISO 9660 Level 2：31文字
- Joliet：32文字
- Romeo：64文字

なお、ロングファイル名形式で書き込んだ場合は、64文字まで表示が可能です。

使用できる文字はライティングソフトの説明書および下記「ファイル名とフォルダ名の入力」を参照してください。

ただし、f-CD07で再生できるディスクには以下の制限があります。

- 最大ディレクトリ階層：8階層
- 1フォルダ中の最大ファイル数：255
- 最大フォルダ数：50
- 最大フォルダ名：64文字（半角）
- ファイルとフォルダの最大合計数：512

上記のフォーマット以外で書き込まれたMP3/WMAファイルは、正常にプレイされなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

### ライティングソフトの設定

何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、“Disc at Once”の設定をしてください。

### ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数字、半角カナ文字で入力してください。これ以外の文字で入力されているファイル名とフォルダ名は正常に表示されません。また、ライティングソフトや使用するディスクのフォーマットによって表示できる文字が制限されます。詳しくはライティングソフトの説明書をご覧ください。

また、MP3/WMAファイルと認識されてプレイされるファイルは、“MP3”または“.WMA”の拡張子が付いたものだけです。MP3/WMAファイルには、“MP3”または“.WMA”拡張子を付けて保存してください。



禁止

MP3/WMA以外のファイルに、“MP3”または“.WMA”の拡張子を付けると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生をしてしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。

MP3/WMA以外のファイルに、“MP3”または“.WMA”拡張子を付けないようにしてください。

### ID3/WMA Tagについて

f-CD07で表示できるID3 Tagは、ID3 Tag v1.x規格で記録された曲名、アーティスト名、およびアルバム名です。また、表示できる文字種は英数字、カタカナです。

WMA Tagで表示できるのは、曲名およびアーティスト名の30文字までです。

### メディアに書き込むファイルについて

MP3/WMAが収録されているメディアを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。

このため、プレイするメディアに多くのフォルダやMP3/WMA以外のファイルを書き込むと、プレイするまで長時間必要になります。

また、次のMP3/WMAファイルのプレイに移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。



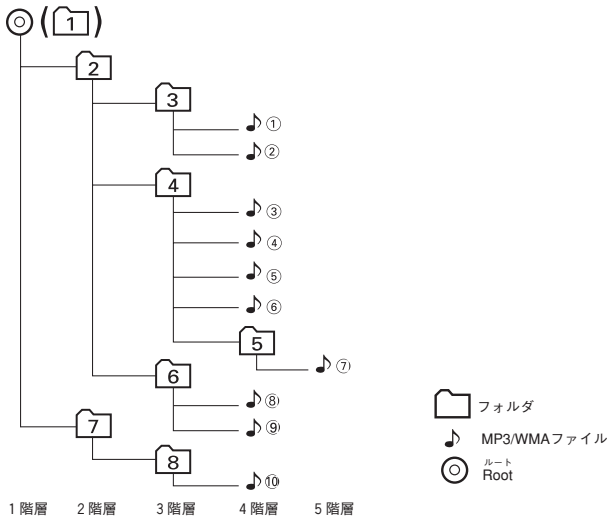
## MP3/WMAファイルをプレイする順番

プレイ、フォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトでファイルやフォルダが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、プレイされると予想していた順番と実際にプレイされる順番が一致しないことがあります。

ライティングソフトにもよりますが、“01”～“99”などとファイル名の頭にプレイする順番を入力してからCD-Rなどに書き込むことで、プレイする順番を設定できることがあります。

以下のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は次のようになります。

メディアの階層例



### ♪④ 再生中にファイルサーチを行うと・・・

押すボタン		
プレイ中のファイルNo.		
	の最初 ▶	▶

### ♪④ 再生中にフォルダサーチを行うと・・・

押すボタン		
現在のフォルダNo.		
	▶  ▶  ▶  ...	▶  ▶  ▶  ▶  ...

### ♪④ 再生中にフォルダセレクトを行うと・・・

押すボタン				
現在のフォルダNo.				

音楽などの著作物を個人的に楽しむなどの場合を除き、著作権利権者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

f-MD07では、グループ化されたMD（グループ登録済みMD）からグループを選んで、聴きたい曲をすばやく選べるグループ管理機能を搭載しています。

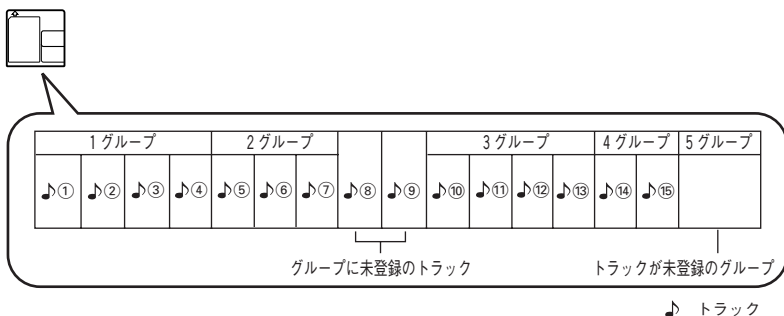
（MDの作成方法はグループ機能を搭載したMDレコーダーなどの取扱説明書をご覧ください）

## 最大再生可能グループ数

本機で再生できるグループ数は50番目までです。51番目以降に登録されているグループは再生できません。

## グループ登録された曲を再生する順番

以下のようなグループで作成されたディスクでトラックサーチ、グループサーチ、およびグループセレクトを行った場合は次のようになります。なお、グループ管理機能は「メニュー設定」（42ページ）の“MD Group”項目を“ON”に設定しているときに使用できます。



- グループ管理機能を“ON”に設定していると、グループに登録していないトラックは再生されません。グループ管理機能を“OFF”に設定するとすべての曲を聴くことができます。
- トラックが登録されていないグループは、グループサーチやグループセレクトでは選択できません。

### ♪⑥ 再生中にトラックサーチを行うと・・・

ボタン操作 現在の トラックNo.		
♪⑥	♪⑥の先頭 → ♪⑤ → ♪④ ...	♪⑦ → ♪⑩ → ♪⑪ ...

### ♪⑩ 再生中にグループサーチを行うと・・・

ボタン操作 現在の グループNo.		
3グループ	2グループ → 1グループ ...	4グループ → 1グループ ...

### ♪⑩ 再生中にグループセレクトを行うと・・・

ボタン操作 現在の グループNo.		
3グループ	4グループ	2グループ → 1グループ

- どの曲を再生中でもグループセレクトを行うと、1グループ目からグループセレクトが開始されます。上記の説明は、 を2回押して3グループを選択したときの操作例を記載してあります。

—



## 共通

### LX BUS TVモニター

(エルエックスバステレビモニター)

外部接続された別売品のテレビモニター (HDX-710 など) です。

### LXアンプ

(エルエックスアンプ)

外部接続された別売品のアンプです。

### MDLP

(エムディーエルピー)

MDの記録方式の規格です。f-MD07ではMDLP2モードとMDLP4モードで録音されたMDをプレイできます。

### MP3

(エムピイスリー)

正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを目指す場合もあります。

使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? MP3/WMA」(64ページ)をご覧ください。

### WMA

(Windows Media™ Audio)

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。

本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを目指す場合もあります。

使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? MP3/WMA」(64ページ)をご覧ください。

### ディスクチェンジャー

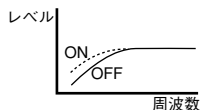
外部接続された別売品のCDチェンジャー (KDC-C510, KDC-C506など)、MDチェンジャー (KMD-C30, RJ-480など)、マルチDISCチェンジャー (VD-C77) です。

## オーディオコントロール

### Bass EXT

(バスエキステンデッド)

この機能をONに設定すると、低音中心周波数が低域側に約20%伸びた状態になります。



### Bass FRQ/MID FRQ/TRE FRQ

(バスフリケンシー/ミドルフリケンシー/トレブルフリケンシー)

低音、中音、高音を調節する周波数 (中心周波数) を、この機能を使って設定することができます。

### Bass Q/Middle Q

(バスクオリティーファクタ/ミドルクオリティーファクタ)

低音と中音の調節スロープを設定する機能です。設定値が大きくなるほどスロープの傾斜が大きくなります。



### dBイコライザー

(ダイナミックブーストイコライザー)

ジャンル別に設定された効果には以下のような特徴があります。

ROCK : スピーディーで力強いアタック音を再現します。

VOCAL : 生き生きとしたボーカルを主体に再現します。

EASY : 中低域をベースにした味わい深いサウンドを再現します。

DANCE : ビートの利いた音を再現します。

JAZZ : ウッドベースの音階やボーカルの質感を鮮明に再現します。

## HPF

(ハイパスフィルター)

サブウーファーを追加するとき、この機能を使って高・中音用のスピーカーから低音を削除することができます。

設定した周波数より低い音域をカットします。“THRU”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

## LPF SW

(ローパスフィルター)

サブウーファー出力から高音を削除することができます。出力をサブウーファー用として使用するとき、この機能で低域のみの音にすることができます。設定した周波数より高い音域をカットします。これにより効率の良い低域再生が可能となります。“THRU”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

## Navi Volume

(ナビ ボリューム)

ナビ音声案内時のナビ音声案内の音量を設定することができる機能です。

## SRS WOW

本機では、米国SRS社のWOW回路により、サウンドに大迫力の重低音を付加したり、立体的な音場にして再生することができます。

SRS WOWの効果は【SRS WOW設定】(39ページ)および【WOWコントロール】(40ページ)で設定することができます。

**FOCUS:** 擬似的にスピーカーの位置を上(“High”)または下(“Low”)を選択して音像の上下と輪郭を調節します。

**TruBass:** “ON”に設定するとバランスのとれた重低音を再現することができます。

**SRS 3D:** “ON”に設定すると奥行き感のある立体的な音場にすることができます。

**SRS WOW:** “FOCUS”、“TruBass”および“SRS 3D”の値を一括で設定することができます。

SRS WOW	FOCUS	TruBass	SRS 3D
Low	Low	ON	ON
High	High	ON	ON
OFF	OFF	OFF	OFF

## Volume Offset

(ボリュームオフセット)

オーディオコントロールで“Volume Offset”を設定すると、聴く時点での音量に対して、各ソースごとに音量差を設定しておくことができます。

## メニュー設定

### AMP Bass

(アンプバスコントロール)

EXT.CONT.コードで接続した別売品のB.M.S機能搭載パワーアンプの、低音域の増幅量をこの機能でコントロールできます。

変更される値や変更時のアンプ側の動作はアンプにより異なります。詳しくは接続しているパワーアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

B.M.S機能搭載アンプについては、カタログをご覧ください。

### AMP FREQ

(アンプフリケンシー)

“AMP Bass”で設定した低音増幅の中心周波数を調整する機能です。

“Low”に設定すると、周波数が20~30%低くなります。

### AMP Mute

(アンプミュート)

フロントスピーカー、リアスピーカーともプリアウト端子にパワーアンプを接続してシステムを組んでいるようなときは、この機能を“ON”に設定することにより、内蔵アンプの稼働を停止させることができます。

内蔵アンプの稼働を停止させると、プリアウトからの音声出力のクオリティをアップさせることができます。

### AUX

(エーユーエックス)

ソース選択時に内蔵AUXソースも含めて切り替えるか設定ができます。内蔵AUX入力を使用していないときは、“OFF”に設定しておけば、内蔵AUXソースに切り替わらないので、スムーズなソース切り替えができます。

## Beep

(ビーブ)

SRCボタンを押したときや、ボタンを1秒以上または2秒以上押したとき、押されたことを確認できるように“ビップ”音がする機能です。うるさく感じたときには“OFF”に設定することにより消すことができます。

なお、Beep音はブリアウトからは出力されません。

## CD READ

(CD リード)

特殊なフォーマットのCDをプレイ時に、正常にプレイができない場合に“2”を設定すると強制的にCDをプレイすることができる機能です。なお、“2”に設定しても、音楽CDによってはプレイできない場合があります。また、“2”に設定するとMP3/WMAのプレイはできなくなります。通常は“1”でお使いください。

(CD READ) 1 : MP3/WMAディスクと音楽CDを自動認識して再生します。

(CD READ) 2 : 音楽CDとして強制的にプレイします。

## dB PRO

(ダイナミックブーストプロ)

オーディオコントロール時に“Bass FRQ”、“Bass Q”、“Bass EXT”、“MID FRQ”、“Middle Q”、“TRE FRQ”項目も含めて調整するか設定ができます。詳細な設定をしないときは、“OFF”に設定しておけば、これらの項目に切り替わらないので、スムーズな項目の切り替えができます。

## Dimmer

(ディマー)

この機能を“ON”に設定しておくと、車両のライトスイッチをオン/オフにしたときに、ディスプレイの明るさを切り替えることができます。

## DSI

(ディセイルシステムインジケーター)

この機能をオンにしておくと、パネルを外したときにLEDが点滅し、盗難防止警告ランプの代用として使用できます。

## Dual Zone システム

(デュアルゾーンシステム)

本機では、内蔵AUX (“AUX”)、別売品のディスクチェンジャー、KCA-S210AまたはCA-C1AXを接続したときの外部AUX (“AUX EXT”)、およびKSFをフロントチャンネルとリアチャンネルに異なるソースの音を出力することができます。

まず、「メニュー設定」(42ページ)の“Zone 2 (Rear/Front)”項目でフロントおよびリアから出力するソースを設定します。

“CD CH”、“MD CH”、“HDD EXT”または“AUX EXT”を選択時

Front : フロント... ディスクチェンジャー、外部AUXソースまたはKSFの音を出力

リア..... 本機のディスクプレーヤー、TUNER、または内蔵AUXソースの音を出力

Rear : フロント... 本機のディスクプレーヤー、TUNER、または内蔵AUXソースの音を出力

リア..... ディスクチェンジャー、外部AUXソースまたはKSFの音を出力

“AUX”を選択時

Front : フロント... 内蔵AUXソースの音を出力

リア..... 本機のディスクプレーヤー、TUNER、ディスクチェンジャー、外部AUXソースまたはKSFの音を出力

Rear : フロント... 本機のディスクプレーヤー、TUNER、ディスクチェンジャー、外部AUXソースまたはKSFの音を出力

リア..... 内蔵AUXソースの音を出力

次に、「メニュー設定」(42ページ)の“Zone 2 (ON/OFF)”項目でDual Zoneシステムのオン/オフを設定します。

ON : フロントとリアで異なるソースの音を出力

OFF : フロントとリアで同じソースの音を出力

なお、Dual Zoneシステムを“ON”に設定している場合は、オーディオコントロールなどのサウンドエフェクトはデュアルゾーンに設定していないスピーカーだけにかかります。

---

## Guide

### (ガイド)

カーナビゲーションの音声ガイド時の本機の動作を設定することができます。この機能を使用する場合は、本機とナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子を接続してください。

ATT：ナビ音声ガイド時は、オーディオの音を小さくします。

INT：ナビ音声ガイドをフロントスピーカーから出力します。(f-CD07およびf-MD07のみ)

この機能を“INT”に設定して、ナビ音声ガイドの割り込みをする場合は、「接続」(76ページ)を参照して、AUX入力にナビゲーションシステムを接続してください。

ケンウッド製カーナビゲーションシステムを接続してこの機能を使用する場合は、ナビゲーションシステムの「オーディオATT」機能をオンに設定してください。また、2001年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムを接続している場合は「音声割り込み」機能もオンに設定してください。

なお、この機能は1997年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムやケンウッド製以外のカーナビゲーションで使用すると正常に動作しない場合があります。

---

## MD Group

### (エムディグループ)

この機能をオンにしておくこと、グループ登録済みMDを再生中に、グループサーチ、グループリピートプレイ、グループランダムプレイ、およびグループセレクトのMDグループ機能を使うことができます。

このとき、グループに未登録の曲は再生されませんので、何らかのグループに登録するか、この機能をオフにしてください。

MDグループ機能については「Help? MD Group」(66ページ)もご覧ください。

---

## MONO

### (モノラル)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。

受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなる場合があります。

---

## Scroll

### (スクロール)

ディスプレイにディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、フォルダネーム、曲名、アルバム名またはアーティスト名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。

この機能を“Auto”に設定しておくことスクロール表示を繰り返し行い、“Manual”に設定しておくこと表示が変わったときだけ1回スクロール表示することができます。

---

## Security

### (セキュリティ)

セキュリティコードを設定しておくこと、本機の電源コードを外したときやりセットボタンを押したときなどの、次に初めて使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになります。すなわち、本機を車両から外したときは、セキュリティコードの入力が必要になるため、盗難防止の手助けとなります。

---

## Seek Mode

### (シークモード)

放送局の探し方を設定することができます。

Auto 1：放送局を自動的に見つけ出します。

Auto 2：メモリーされている放送局を順番に受信します。

Manual：1ステップずつ周波数が変わります。

---

## SWPRE

### (スイッチングブリアウト)

リアブリアウトをサブウーファー用出力 (“Sub-W”) に切り替えることができます。

## 無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

- Eject** : ●ディスクマガジンがセットされていない。  
●ディスクマガジンが完全に入っていない。  
など
- No Disc** : ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- TOC Error** : ●ディスクが異常に汚れている。  
●ディスクが裏返しになっている。  
●ディスクに傷が多く付いている。  
●ディスクが入っていない。  
●トレイが入っていない。
- Blank Disc** : 演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。
- No Track Disc** : 演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
- E-15** : ディスクに本機で再生できるデータが入っていない。
- No Name** : ディスクネームプリセットされていないディスクを演奏中に、ディスク名表示にしようとした。
- No Title** : 演タイトルが記録されていないMDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
- No Text** : ●CDテキストが記録されていないCDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。  
●曲名、アルバム名またはアーティスト名がないMP3/WMAファイルを再生中に、それぞれの表示にしようとした。
- No Access** : CDをディスクチェンジャーに入れてから1回もプレイをしていない状態でSBFを行った。
- Unsupported File** : サポートされていないMP3/WMAフォーマットのファイルをプレイしようとした。
- Copy Protection** : コピープロテクトされているWMAファイルをプレイしようとした。



## システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

- E-77** : 何らかの原因で正常に動作していない。  
➡本機のリセットボタンを押してください。"E-77"の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- Hold Error** : ディスクチェンジャーの内部温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。  
➡ディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。
- Mecha Error** : ●ディスクマガジンに異常がある。  
➡ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。  
●何らかの原因で正常に動作していない。  
➡イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- INインジケーターが点滅**  
: CDプレーヤーが正常に動作していない。(f-CD07/CD05/CD05S)  
➡CDを取り出してから、CDを入れなおしてください。  
: MDプレーヤーが正常に動作していない。(f-MD07)  
➡MDを取り出してから、MDを入れなおしてください。
- Load** : ディスクチェンジャー内のディスクを交換中です。
- Reading** : ディスクに収録されているデータのチェック中です。

# 取り付け時のご注意

## 警告



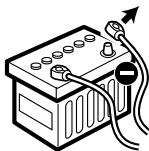
禁止



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V $\ominus$ アース車専用です。



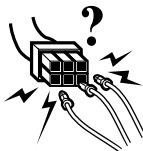
実施



配線作業中は、バッテリーの $\ominus$ 端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



実施



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通り行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にしないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



**禁止**



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。

コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



**実施**



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



**実施**

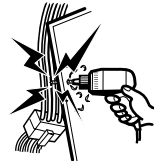
バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。

また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



**注意**



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



**実施**



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



**注意**

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



**実施**

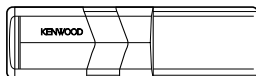
事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

# 接続

**!** 初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、  
**実施** ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 本機のリセットボタン（8ページ）を押します。

ディスクチェンジャー/LX BUSユニットなど（別売品）



ディスクチェンジャー/CDプレーヤー入力  
 TV/LXアンプ入力  
 詳しい接続のしかたはディスクチェンジャー/CDプレーヤー/TV/LXアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

ディスクチェンジャーケーブル  
 （ディスクチェンジャーに付属）

電源  
 ハーネス  
 （付属）

ヒューズ（10A）



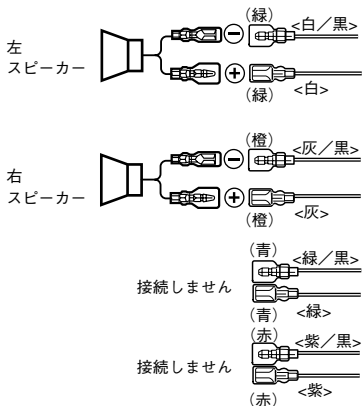
- 別売品のディスクチェンジャーやCDプレーヤーにO-Nスイッチが付いている場合は“N”に設定してください。
- 別売品のKCA-S210Aを接続する場合は、KCA-S210A付属の取扱説明書で“Dユニット”項目を参照してください。



## 注意

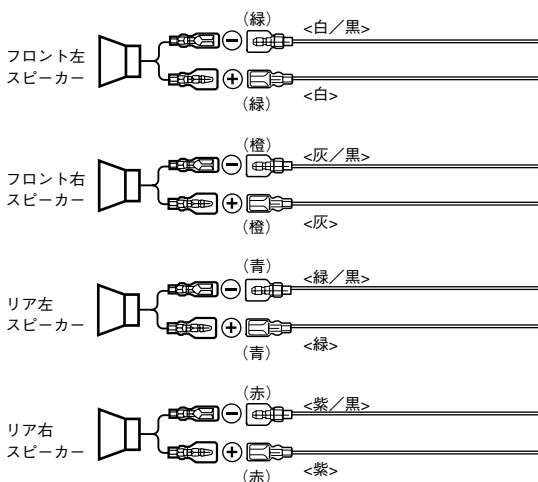
ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

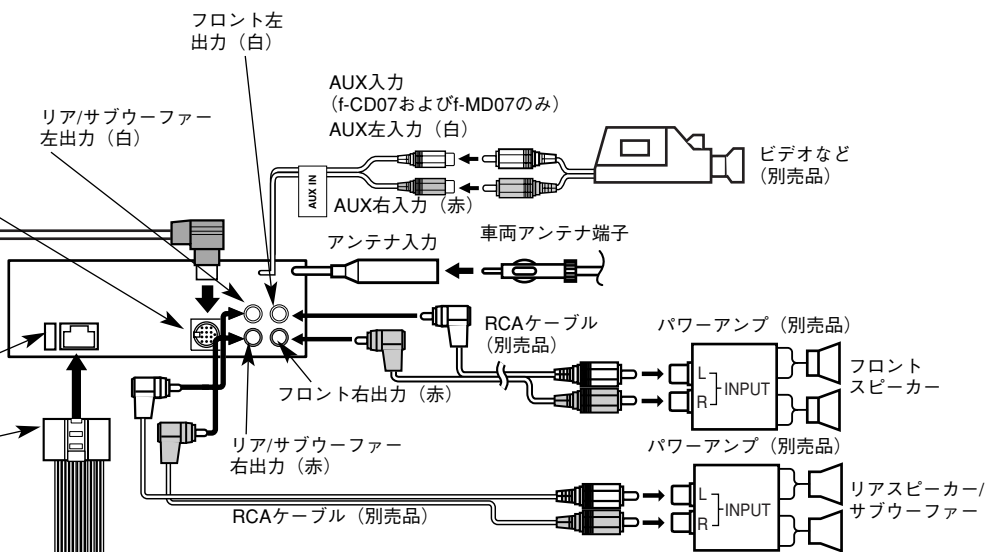
## 2スピーカー時のスピーカー接続方法



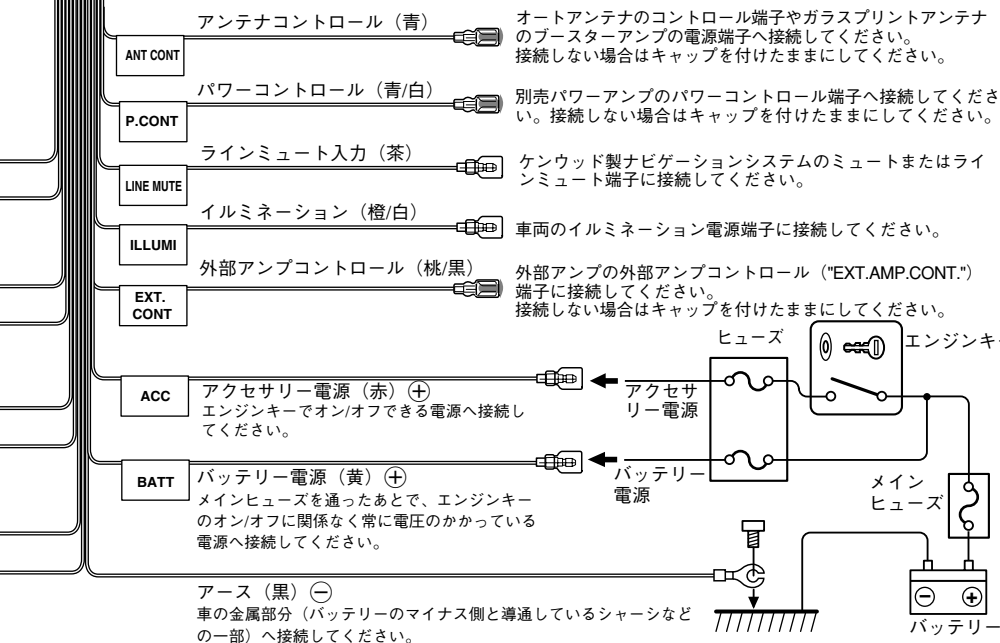
## 注意

- スピーカーコードの⊕⊖端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。



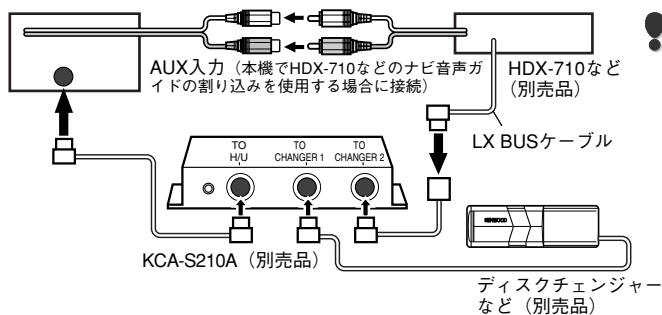


⚠️ ラインミュート入力 (茶) をケンウッド製以外のカーナビゲーションシステムに接続すると誤動作する場合があります。誤動作する場合は、「メニュー設定」(42ページ)の“Guide”項目を“OFF”に設定してください。



# 接続

## KCA-S210A (別売品) を使ってLX BUS TVモニターを接続する場合



- KCA-S210Aに付属の取扱説明書で“Dユニット”項目を参照してください。
- 別売品に“O-Nスイッチ”がある場合は“N”に設定してください。
- HDX-710などは、KCA-S210Aの“TO CHANGER2”端子に接続してください。
- HDX-710などで「ナビ音声ガイド時の割り込み/ミュート設定」(43ページ)をおこなう場合はLX BUSケーブルを接続してください。

# 取り付け

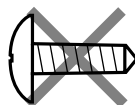
付属のトラスネジ (M5 × 6mm) またはサラネジ (M5 × 7mm) を4本使用して車両ブラケットなどに取り付けます。



**取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。**

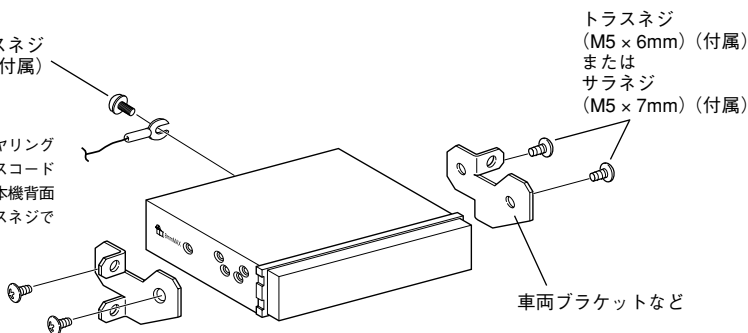
**実施**

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が車両ブラケットなどから外れることがあります。なお、取り付けネジはトラスネジとサラネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。



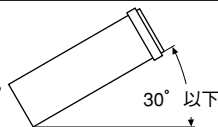
セムスネジ  
(M4 × 8mm) (付属)

別売品のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のセムスネジで固定します。



注意

- 本機の取り付け角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
- 操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。



別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくはカタログをご覧ください。

# 保証とアフターサービス

## 保証について

### ●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### ●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

## 修理を依頼されるときは

「Help ?Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

**修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。**

### ●保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

### ●保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。

（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

### ●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。

（本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）

- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

### ●修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。

技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

- 部品代：修理に使用した部品代です。

その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。





# 仕様一覧

## f-CD07/CD05/CD05S

### FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N:30 dB)	9.3 dBf (0.8 $\mu$ V/75 $\Omega$ )
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 $\mu$ V/75 $\Omega$ )
周波数特性 ( $\pm$ 3.0 dB)	30 Hz~15 kHz
S/N比	70 dB (MONO)
選択度 ( $\pm$ 400 kHz)	80 dB以上
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

### AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522 kHz~1629 kHz (9 kHz)
感度 (S/N:20dB)	25 $\mu$ V

### CDプレーヤー部

レーザーダイオード	GaAlAs
デジタルフィルター (D/A)	8 倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	10 Hz~20 kHz ( $\pm$ 1 dB)
高調波歪率	0.01 % (1 kHz)
回転数	1000~400 rpm (線速度一定・倍速)
S/N比	105 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	93 dB
チャンネルセパレーション	96 dB
MP3デコード (f-CD07のみ)	MPEG-1.0/2.0 Audio Layer-3準拠
WMAデコード (f-CD07のみ)	Windows Media™ Audio 準拠

### オーディオ部

最大出力	50 W $\times$ 4
定格出力	30 W $\times$ 4 (4 $\Omega$ , 1kHz, 10%THD以下)
プリアウトレベル	2000 mV/10 k $\Omega$ (CD/CD-CHプレイ時)
プリアウトインピーダンス	600 $\Omega$ 以下
トーン・コントロール (Bass)	100 Hz $\pm$ 10 dB
(Mid)	1 kHz $\pm$ 10dB
(Treble)	10 kHz $\pm$ 10dB
AUX入力周波数特性 (f-CD07のみ)	20 Hz~20 kHz ( $\pm$ 1 dB)
AUX入力最大電圧 (f-CD07のみ)	1200 mV
AUX入力インピーダンス (f-CD07のみ)	100 k $\Omega$

### 電源部

電源電圧	14.4 V (11~16 V)
最大消費電流	10 A

### 寸法・質量

埋込寸法 (W $\times$ H $\times$ D)	178 $\times$ 50 $\times$ 160 mm
質量 (重さ)	1.4 kg

### 付属部品

電源ハーネス	1 本
サラネジ (M5 $\times$ 7mm)	4 本
トラスネジ (M5 $\times$ 6mm)	4 本
セムスネジ (M4 $\times$ 8mm)	1 本
リモコン	1 個
電池 (単3形)	2 個

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

## f-MD07

### FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N:30 dB)	9.3 dBf (0.8 $\mu$ V/75 $\Omega$ )
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 $\mu$ V/75 $\Omega$ )
周波数特性 ( $\pm$ 3.0 dB)	30 Hz~15 kHz
S/N比	70 dB (MONO)
選択度 ( $\pm$ 400 kHz)	80 dB以上
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

### AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522 kHz~1629 kHz (9 kHz)
感度 (S/N:20dB)	25 $\mu$ V

### MDプレーヤー部

レーザーダイオード	GaAlAs
デジタルフィルター (D/A)	8 倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 Hz~20 kHz ( $\pm$ 2 dB)
高調波歪率	0.03 % (1 kHz)
回転数	900~400 rpm (線速度一定)
S/N比	90 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	80 dB
ステレオセパレーション	85 dB

### オーディオ部

最大出力	50 W $\times$ 4
定格出力	30 W $\times$ 4 (4 $\Omega$ , 1kHz, 10%THD以下)
プリアウトレベル	2000 mV/10 k $\Omega$ (MD/CD-CHプレイ時)
プリアウトインピーダンス	600 $\Omega$ 以下
トーン・コントロール (Bass)	100 Hz $\pm$ 10 dB
(Mid)	1 kHz $\pm$ 10dB
(Treble)	10 kHz $\pm$ 10dB
AUX入力周波数特性	20 Hz~20 kHz ( $\pm$ 1 dB)
AUX入力最大電圧	1200 mV
AUX入力インピーダンス	100 k $\Omega$

### 電源部

電源電圧	14.4 V (11~16 V)
最大消費電流	10 A

### 寸法・質量

埋込寸法 (W $\times$ H $\times$ D)	178 $\times$ 50 $\times$ 160 mm
質量 (重さ)	1.3 kg

### 付属部品

電源ハーネス	1 本
サラネジ (M5 $\times$ 7mm)	4 本
トラスネジ (M5 $\times$ 6mm)	4 本
セムスネジ (M4 $\times$ 8mm)	1 本
リモコン	1 個
電池 (単3形)	2 個

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

---

# KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。  
カスタマーサポートセンター 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2 電話(045)933-5212 FAX(045)933-5553  
カスタマーサポートセンター大阪 〒532-0034 大阪府大阪市淀川区野中北2-1-22 電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308  
受付時間 9:00～18:00（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。